F-05D

ARROWS X LTE

取扱説明書　’12.8

docomo NEXT series

はじめに

「F-05D」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末に搭載）

すべての機能の案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉アプリケーションメニューで［取扱説明書］→検索方法を選択

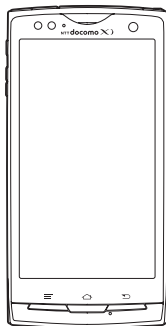
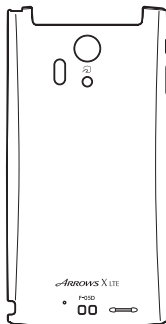
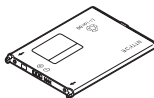
「取扱説明書」（PDFファイル）

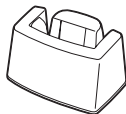
すべての機能の案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

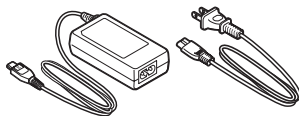
- 本書においては、「F-05D」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■F-05D（保証書付き）

■リアカバー F67

■電池パック F24

■クイックスタートガイド

■卓上ホルダ F36

■microSDカード（2GB）（試供品）（取扱説明書付き）

※ お買い上げ時にあらかじめ本端末に取り付けられています。

■ACアダプタ F05（保証書付き）

■PC接続用USBケーブル T01

□その他のオプション品→P134

目　次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモード中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P142
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P77
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。

- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットVPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

● 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

 禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

 禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

 分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P19

 指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスなどの破片や露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用し破片が飛散りにくい構造となっておりますが、万が一割れた場合に破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧（P12）」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	フロントケース	PA-GF樹脂	UVハードコート
	フロントキーパネル	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアケース	PC-GF樹脂	UVハードコート
	トップ化粧パーツL	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	トップ化粧パーツR	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	ボトム化粧パーツ	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC-GF樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
ワンセグアンテナ	アンテナトップ	ステンレス鋼	なし
	アンテナロッド	ステンレス鋼	なし
	アンテナホルダ	亜鉛ダイキャスト	Niメッキ
ワンセグアンテナ取り付け板金		ステンレス鋼	Niメッキ
ワンセグアンテナ固定ネジ		ステンレス鋼	なし
アウトカメラパネル	透明部	高強度アクリル樹脂	UVハードコート
	リング部	PC樹脂	UVハードコート

使用箇所		材　質	表面処理
IrDAパネル		PMMA樹脂	UVハードコート
フラッシュパネル		PC樹脂	なし
操作キー		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー	電源キー	PC樹脂	UVハードコート
	音量ボタン	PC樹脂	UVハードコート
ストラッププレート		ステンレス鋼	光沢バレル研磨+メッキ
ストラップ固定ネジ		ステンレス鋼	なし
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	止水ゴム部	シリコンゴム	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
HDMI端子		ステンレス鋼	錫メッキ
ステレオイヤホン端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	止水ゴム部	シリコンゴム	なし
電池端子	本体	LCP樹脂	なし
	端子	チタン銅	金メッキ
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ

使用箇所		材　質	表面処理
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	ラベル	PET	黒色印刷文字
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
ドコモminiUIMカードトレイ	カバー	LCP樹脂	なし
	ハウジング	チタン銅	金メッキ
	ホルダ	PC+ABS樹脂	なし

■卓上ホルダ F36

使用箇所	材　質	表面処理
本体ケース	ABS樹脂	なし
レバー	POM樹脂	なし
ゴム足	シリコンゴム	なし
接点バネ	リン青銅	金メッキ
外部接続端子	ステンレス鋼	錫メッキ

■ACアダプタ F05

使用箇所	材　質	表面処理
ケース	PPE樹脂	なし
ラベル	PET樹脂	なし
USBケーブル	FRPE樹脂	なし
電源ケーブル（被覆、プラグモールド部、コネクタ部）	PVC樹脂	なし
電源ケーブル（プラグ）	C2680-1/2H（黄銅）	Niメッキ
電源ケーブル（プラグ耐トラッキング部）	PBT樹脂	なし

■PC接続用USBケーブル T01

使用箇所	材　質	表面処理
microUSB-Bプラグ部（シェル）	ステンレス鋼	Niメッキ
microUSB-Bプラグ部（樹脂）	TPE樹脂またはPVC樹脂	なし
ケーブル	TPE樹脂またはPVC樹脂	なし
Standard-Aプラグ部（シェル）	鋼板	Niメッキ
Standard-Aプラグ部（樹脂）	TPE樹脂またはPVC樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-05Dは防水／防塵性能を有しておりますが、端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。

- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

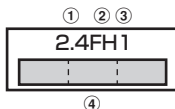
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

①2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

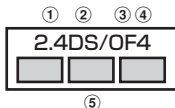
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**

  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

◆FMトランスミッタについて

- **本端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は77.4～85.0MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご使用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。**

◆注意

- **改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FMトランスミッタは日本国内で使用してください。**
  本端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-05Dは、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-05DにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-05Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

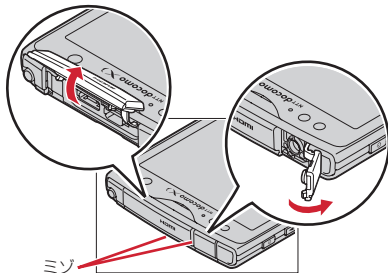
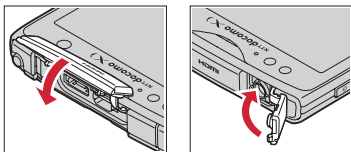
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-05Dが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグ視聴ができます。**
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中に沈めることができます。**
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（→P22）で洗い流してください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P22）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、所定の方法（→P22）で洗い流してください。
  - お風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。

また、外部接続端子やステレオイヤホン端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→P27
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

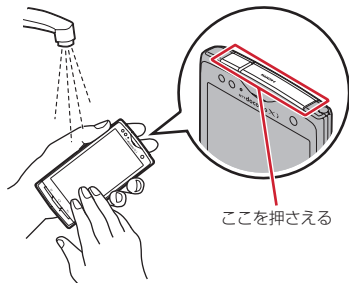
温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P19）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-05DはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

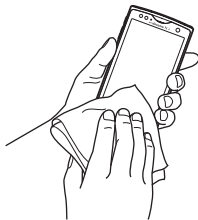
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

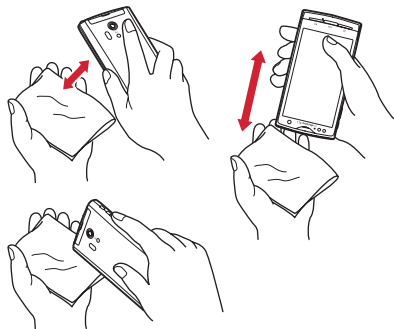
◆本端末の洗いかた

外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。

- 規定（→P19）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- リアカバーを確実に取り付けた状態で、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

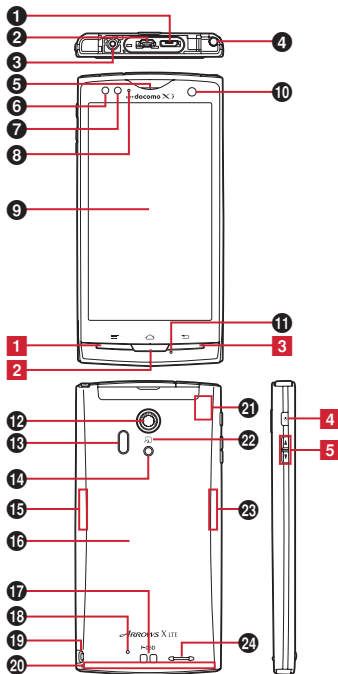
③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

〈各部の機能〉

❶ 外部接続端子
付属のPC接続用USBケーブル T01などの接続

❷ HDMI端子（Type D）

❸ ステレオイヤホン端子
※ ステレオイヤホンのプラグを差し込むとイヤホン接続時マイク選択画面が表示されます。→P70

❹ ワンセグ／FMトランスミッタアンテナ
※ ワンセグ視聴／FMトランスミッタ出力時に伸ばします。

❺ 受話口

❻ 近接センサー
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ
※ 近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、誤動作する場合があります。

❼ 照度センサー
周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節
※ ふさぐと、正しく検知されない場合があります。

❽ お知らせLED
赤色点灯：充電中
緑色1回点灯：電源ON
※ 点灯／点滅色は、設定やアプリケーションによって異なります。

❾ ディスプレイ（タッチパネル）

❿ インカメラ

⓫ 送話口／マイク

⓬ アウトカメラ

⓭ 赤外線ポート

⓮ カメラライト（フラッシュ）

⓯ LTEアンテナ部
※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⓰ リアカバー
※ リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
※ リアカバーの裏面には、防水／防塵のためのゴムパッキンがついています。

⓱ 充電端子

⓲ 背面マイク
※ 通話時にノイズを抑えるために使用します。

⓳ ストラップホール

⓴ FOMAアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉑ GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉒ マーク

ICカードの搭載

※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用できます。また、対応するアプリケーションをダウンロードすると、iC通信でデータを送受信できます。なお、ICカードは取り外せません。

㉓ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉔ スピーカー

〈キーの機能〉

1 メニューキー

押す：現在の画面で使用できる設定などの表示

2 ホームキー

押す：ホーム画面に戻る

1秒以上押す：タスク管理

3 バックキー

押す：直前の画面に戻る、アプリケーションの終了

4 電源キー

押す：スリープモードの設定／解除

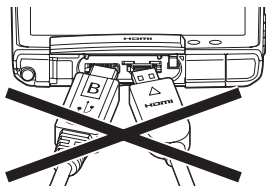
長く押す：電源を入れる／切る、再起動、公共モード、機内モード、マナーモードの設定／解除

5 音量キー

押す：各種機能の音量の調節

を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

〈注意事項〉

microUSBプラグとHDMIプラグは同時に差し込まないでください。

ドコモminiUIMカード

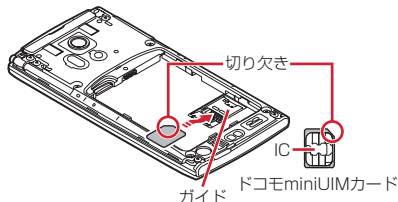
ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

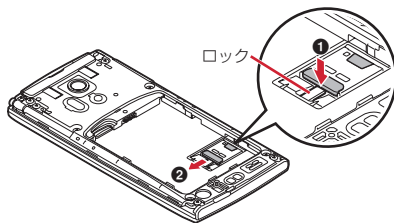
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P27

■ 取り付けかた

① **ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む**
  - 切り欠きの方向にご注意ください。

■ 取り外しかた

① **指でロックを押しながら（❶）、ドコモminiUIMカードを❷の方向に2～3mm引き出す**

② **ロックから指を離し、ドコモminiUIMカードを軽く押さえながら❷の方向へスライドさせる**
  - このときドコモminiUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。

✔**お知らせ**

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P77

microSDカード

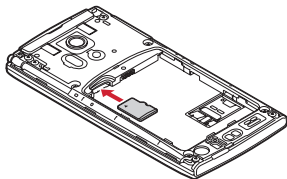
◆ microSDカードについて

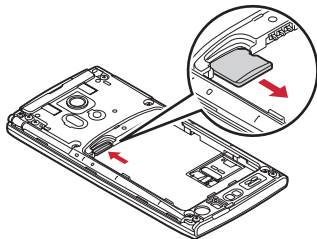
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年8月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカード、microSDHCカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカードの取扱説明書もご覧ください。
- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P27

■ 取り付けかた

① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む

■ 取り外しかた

① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

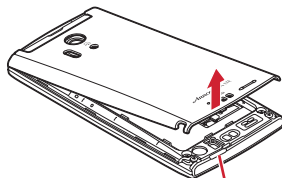
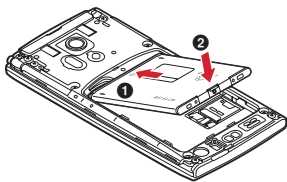
電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F24をご利用ください。

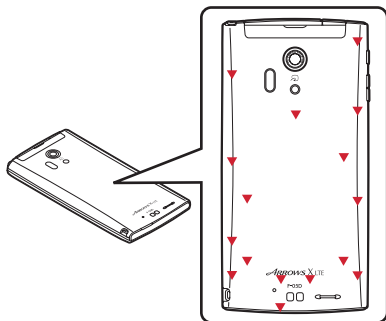
■ 取り付けかた

① リアカバー取り外し部の位置でリアカバー側に爪をかけ、リアカバーを矢印の方向に垂直に持ち上げながら取り外す

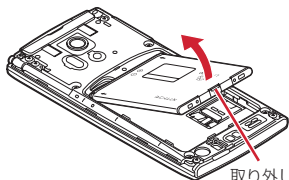
- 防水／防塵性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。

② 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける

③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

④ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水／防塵性能」について→P19

■ 取り外しかた

① 電池パックの取り付けの操作①を行う

② 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

充電

❖充電時のご注意

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合、充電エラーになります。充電エラーになると充電が停止し、お知らせLEDが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外してください。
  - 充電電圧が高くなった
  - 電池パックが過充電した
  - 4時間以上たっても充電が完了しなかった
  - 電池温度が保証動作温度外となった
- 充電中はiC送信ができません。

❖充電時間（目安）

F-05Dの電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ F05	約130分
FOMA DCアダプタ 02	約230分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。→P146

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約490時間
	GSM	静止時（自動）：約290時間
	LTE	静止時（自動）：約200時間
連続通話時間	FOMA／3G	約340分
	GSM	約460分

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ 01（別売）：AC100Vのみに対応しています。

FOMA ACアダプタ 02（別売）／FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）／ACアダプタ 03（別売）／ACアダプタ F05（付属品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

FOMA DCアダプタ 01（別売）／FOMA DCアダプタ 02（別売）／DCアダプタ 03（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダ充電の設定

付属の卓上ホルダ F36を使って充電する場合は、本設定を必ず確認してから充電を行ってください。

- 卓上ホルダを使わないで充電する場合は、本設定を変更する必要はありません。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［初期設定］→［卓上ホルダ充電］→充電方法を選択

急速充電：付属のACアダプタ F05を接続して充電する場合に選択します。

通常充電：急速充電に対応していないACアダプタを接続して充電する場合に選択します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F36とACアダプタ F05を使って充電してください。

① ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側を繋ぐ

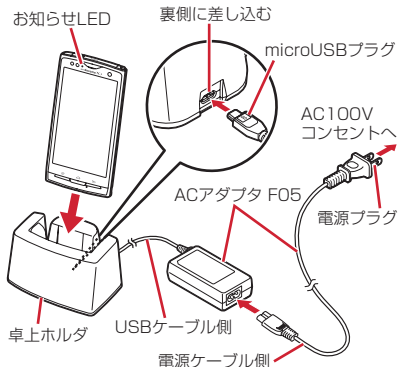
② ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして卓上ホルダ裏側の端子へ水平に差し込む

③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

④ 本端末を卓上ホルダの中央に差し込み、お知らせLEDの点灯を確認する

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 卓上ホルダに差し込んだときに本端末が左右のどちらかに寄っていると、充電が開始されない場合があります。差し込む際は、お知らせLEDが点灯する位置に確実に差し込んでください。

⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外す

⑥ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く

◆ ACアダプタを使って充電

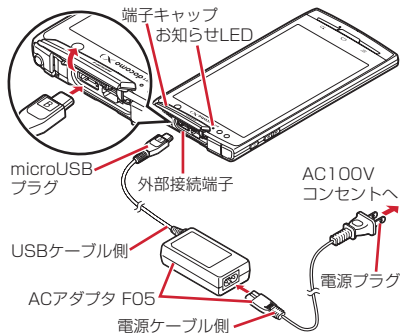
付属のACアダプタ F05を使って充電します。

① **ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側を繋ぐ**

② **本端末の端子キャップを開け、ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして外部接続端子に水平に差し込む**

③ **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**
- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

④ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

⑤ **外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを抜き、本端末の端子キャップを閉じる**

◆ パソコンを使って充電

付属のPC接続用USBケーブル T01で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。
- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯して同時にバイブレータが振動するまで⏻を押し続ける(2秒以上)

起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面で🔒
- ロック画面→P36

■ 初めて電源を入れたときは

初期設定を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。
- ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。

■ ホームアプリの変更

初回起動時はホーム画面に［docomo Palette UI］が設定されています。［NX! comfort UI］などに変更する場合は、アプリケーションメニューで［ホーム切替］を選択して、画面の案内に従って操作してください。

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける

2 ［電源を切る］→［OK］

バイブレータが振動して電源が切れます。
再起動：［再起動］

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

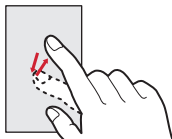
本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。

❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

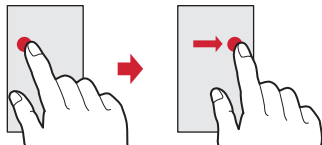
タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離した時点で操作が有効になります。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。

例：タップ

❖ロングタッチ

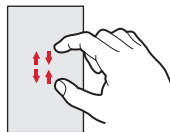
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

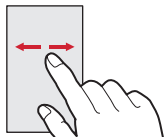
❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
- アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。

◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P71）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 ⏻と▾を同時に押す（1秒以上）

通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ、またはアプリケーションメニューで［ギャラリー］→［Screenshots］をタップすると、画像を確認できます。

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［初期設定］

2 各項目を設定

自分からだ設定：自分からだ設定の基本情報やあわせるボイス、ウォーキング／Exカウンタ利用の設定を行います。→P80

画面ロックの認証設定：画面ロックについて設定します。→P77

セキュリティ解除方法：セキュリティロックの解除方法を設定します。→P77

ホーム壁紙：ホーム画面の壁紙を設定します。→P45

フォトスクリーン：ロック画面の背景画像を設定します。→P70

卓上ホルダ充電：卓上ホルダで充電する際の充電方法を設定します。→P30

Googleアカウント：Googleアカウントを設定します。

- Googleアプリケーションの利用やGoogle Playからのダウンロードなどが可能となります。画面の案内に従って操作してください。
- Googleアカウントの初回設定時に［バックアップと復元］という画面が表示されます。本端末はこの機能に対応していないため、［Googleアカウントでこの端末を常にバックアップする］にチェックを付けても、データはバックアップされません。

❖その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Eメールのアカウントの設定→P86
- Wi-Fi機能の設定→P63
- アクセスポイント（APN）の設定→P61

画面表示／アイコン

◆ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

通知アイコン　ステータスアイコン　ステータスバー

■主な通知アイコン

：新着Gmail
：新着Eメール
：新着spモードメール
：新着SMS
：新着エリアメール
：SMSの送信失敗
：同期トラブル
：Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
：Wi-Fiテザリングが有効
：USB接続中
：USBテザリングが有効
：Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
：通話中
：不在着信
：通話保留中
：伝言メモあり
：留守番電話サービスの伝言メッセージ
／：データのアップロード完了／ダウンロード完了
：Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了
：Google Playのアプリケーションがアップデート可能
：隠れた通知あり
：イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
：イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
／：ワンセグ受信中／録画中
：VPN接続
／／：ソフトウェア更新有／完了／継続不可
：NX!エコ（タイマーエコモード設定1）
：NX!エコ（タイマーエコモード設定2）
：NX!エコ（電池残量エコモード）
：NX!エコ（今すぐエコモード）
：GPS測位中
：FMトランスミッタON
：競合によりFMトランスミッタOFF
：おまかせロック設定中
：本端末のメモリの空き容量低下

■主なステータスアイコン

（水色）：電波状態

- 通信中は▲（アップロード時）▼（ダウンロード時）が表示されます。
- 国際ローミング中は左上に［R］が表示されます。

（グレー）：圏外
：GPRS使用可能
：3G使用可能
：LTE使用可能
：機内モード
：Wi-Fi接続中
：Bluetooth機能オン
：Bluetooth機器接続中
：おサイフケータイ ロック設定中
：伝言メモ設定中
：伝言メモがいっぱい
：スピーカーフォンオン
：マイクミュート
：着信音量0
：バイブレーションオン
：公共モード（ドライブモード）
：マナーモード（通常マナー）
：マナーモード（サイレントマナー）
：マナーモード（アラームONマナー）

：マナーモード（オリジナルマナー）
：要充電
：電池残量がほとんどない
：電池残量が少ない
：電池残量十分
：充電中
：かな入力モード
：英字入力モード
：数字入力モード
：手書き入力モード
：絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力

◆ 通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にドラッグ

① **設定スイッチ**
設定スイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。
- をタップすると、設定メニューを表示できます。

② **通知**
各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。通知内容によってはが表示されない場合があります。

③ **在圏ネットワーク名**
④ **SIMカード事業者名**
⑤ **タブ**

❖通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のタブを上方向にドラッグ、または

❖設定スイッチを変更する

設定スイッチの機能割り当てを変更します。

1 通知パネルの設定スイッチをロングタッチ→パネル選択画面で機能を選択

◆ ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、スリープの設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

1 または
スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。
手動でスリープモードにする：

✔お知らせ
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ ロック画面が表示されたら

1 ロック画面で🔒

ロックが解除されます。

✔お知らせ

- ロック画面の📷をタップするとカメラが起動します。
- ロック画面が表示されていても、不在着信と新着spモードメールの件数が表示されます。
- ロック画面では、ロック画面の消灯時間の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- 画面ロックの認証設定が無効の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

◆ タスク管理

⌂を押すなどしてアプリケーションの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリケーションが実行中の状態になることがあります。
タスクマネージャを起動すると、実行中のアプリケーションを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 ⌂（1秒以上）

最近使用したアプリケーションが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリケーションを起動できます。
- サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。

2 ［タスクマネージャ］

実行中のアプリケーションが表示されます。

3 目的の操作を行う

アプリケーションの表示：［表示］
アプリケーションの終了：［終了］／［すべて終了］

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P41

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P41
- キーボードの設定の手書き入力の設定で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。お買い上げ時は上書き手書き入力が有効に設定されています。→P42

■ テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力の3種類の入力方式を使用できます。→P39

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。

① 絵文字／定型文／(^_^)／、。!?：絵文字／定型文／顔文字／記号の入力

上書き手書きアイコン：上書き手書き入力の有効／無効

- 上書き手書き入力が有効のときは、指のイラストが水色で表示されます。
- テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に上書き手書きアイコンをロングタッチ→そのまま全画面アイコンにスライドすると、全画面で上書き手書き入力ができます。
- キーボードの切り替え操作にも利用します。→P39

A1あ：入力モードの切り替え（英字・数字・かな）

- 現在の入力モードが水色で表示されます。
- 下にスライドすると、全画面で上書き手書き入力ができます。

マイクアイコン：音声文字入力の起動

- 全画面で上書き手書き入力中に上にスライドすると、キーボードを表示します。

キーボードアイコン：手書きキーボードからテンキーキーボード／QWERTYキーボードに切り替え

② 戻す：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
：テンキーキーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
：カーソルを左に移動
：英字入力時の大文字と小文字の切り替え
- タップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。

：パスワードマネージャーの引用、電話帳／ATOKダイレクトの引用、NX!inputの設定、文字コードの入力、単語登録、定型文に切り替え
- ［定型文］は絵文字／絵文字Dが入力可能な場合に表示されます。
- キーボードの非表示の操作にも利用します。→P38

：キーボードの切り替え→P39
（ロングタッチ）：音声文字入力の起動
カナ英数：カタカナ／英数／年月日（全角／半角）などに変換
後変換：かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択
記号：英数字入力と記号入力モードの切り替え
- QWERTYキーボードの設定で数字キーを表示に設定した場合に表示されます。数字キーを非表示に設定した場合は、各キーを下にフリックしてキーに割り当てられている数字や記号を入力できます。

③ ／Clear：カーソルの左側の文字を削除／カーソルの右側の文字を削除
：カーソルを右に移動
変換／：文字の変換／空白の入力
Next／：次の入力項目にカーソル移動／確定または改行
- この他にもDoneなど、機能が変化する場合があります。

④ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。
- 認識された文字をタップして、補正候補の文字の一覧から入れ替える文字を選択できます。上から書き直すこともできます。

認識された文字
補正候補

❖キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示（テンキーキーボードとQWERTYキーボード）

1 をタップ→ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライド→が に切り替わってから、再度 にスライドして指を離す

■ キーボードの非表示（手書きキーボード）

1

❖キーボードの切り替え

■ テンキーキーボードとQWERTYキーボード

1 **テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に →キーボードの種類を選択**

■ 手書きキーボード

1 **テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に をロングタッチ→そのまま にスライド**

テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに切り替え：手書きキーボード表示中に

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。

- キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。→P42

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと を1回または2回タップします。

◆ 便利な入力機能

絵文字や記号、定型文の入力をしたり、電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。また、音声で文字を入力することもできます。

❖絵文字／顔文字／記号パレットで入力

- 文字入力欄によっては、絵文字は入力できません。

1 (絵文字)／(^_^)(顔文字)／、。!?(記号)

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から絵文字／顔文字／記号を選択

- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある［履歴］をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖定型文／文字コード表から入力

1 ^→定型文／文字コード

- キーボード上に定型文が表示されているときは、それをタップしても定型文からの入力操作ができます。
- 手書きキーボードの場合は、^→NX!inputメニューの［定型文］／［文字コード］を選択します。

2 カテゴリーを選択→一覧から定型文／文字を選択

❖他のデータから引用して入力

電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。

- パスワードマネージャー→P79

1 →

- 手書きキーボードの場合は、→NX!inputメニューの［ATOKダイレクト］を選択します。

2 目的の操作を行う

電話帳から引用：[電話帳／ATOKダイレクト]→連絡先リストで名前を選択→項目にチェック→[OK]

パスワードマネージャーから引用：[パスワードマネージャー]→認証操作→タイトルを選択→「ID（アカウント）」欄または「パスワード」欄の

- 文字入力中にキーボードの→をタップしても操作できます。

❖音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。

1 文字入力中に／(ロングタッチ)→言葉を発声

2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で［やり直す］をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆ 他の入力方法に切り替え

Androidキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書きキーボードでのみ入力できます。

1 ホーム画面で→[本体設定]→[言語と入力]→[デフォルト]→入力方法を選択

✔お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で［NX!input］を選択します。

◆ NX!inputとATOKの設定

❖キーボードの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語や定型文の登録、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[言語と入力]→[NX!input]の[設定]をタップ

2 各項目を設定

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキーの設定：入力方式（ケータイ入力／ジェスチャー入力／フリック入力）、トグル入力、文字削除キーを設定します。入力方式が「ジェスチャー入力」のときはジェスチャーガイドを、「フリック入力」のときは、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリックを設定できます。

QWERTYキーボードの設定：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面）、数字キー表示（横画面）を設定します。

手書き入力の設定：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、上書き手書き感度、縦画面／横画面／全画面縦／全画面横の枠数、ガイド表示、確定速度、線の設定（通常手書き／全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通の設定：日本語入力時／英語入力時／数字入力時のキーボードの選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、スペースは半角で出力、自動スペース入力、自動全画面化（横画面）を設定します。

候補一覧設定：候補一覧の文字サイズ、表示行数（縦画面）、表示行数（横画面）を設定します。

デザイン：画面デザインのテーマ、シンプルテイスト、キーサイズ（縦画面）、キーサイズ（横画面）を設定します。

ユーティリティ：辞書ユーティリティで単語の登録（→P42）や、定型文ユーティリティで定型文の登録、編集（→P43）を行います。

初期化：各種設定値や入力した語句の学習した内容の初期化を行います。

- ［設定の初期化］を実行しても学習データやユーザー辞書の単語、登録した定型文は削除されません。

❖単語の登録（ユーザー辞書）

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[言語と入力]→[NX!input]の[設定]をタップ

2 [ユーティリティ]→[辞書ユーティリティ]

3 [メニュー]→[新規登録]→[単語]に登録する単語を入力→[読み]に読みかたを入力→品詞を選択→[登録]

登録単語を修正：単語をタップ→内容を修正→［修正］

登録単語を1件削除：単語をロングタッチ→［削除］→［はい］

登録単語を全件削除：[メニュー]→［全削除］→［はい］

登録単語をmicroSDカードに保存：[メニュー]→［一覧出力］→場所欄で［sdcard］→保存先のフォルダを選択→ファイル名を入力→［OK］→［実行］→［閉じる］

microSDカードに保存した単語を読み込む：[メニュー]→［一括登録］→場所欄で［sdcard］→フォルダを選択→ファイルを選択→［OK］→［登録］→［閉じる］

- 文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、［自動登録単語は含めない］のチェックを外してください。

❖定型文の登録

新しい定型文やカテゴリーを登録できます。

1 ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［言語と入力］→［NX!input］の［設定］をタップ

2 ［ユーティリティ］→［定型文ユーティリティ］

3 ［メニュー］→［新規作成］→定型文を入力→カテゴリー欄でカテゴリーを選択→［登録］

定型文の本文を修正： 定型文をタップ→内容を修正→［登録］
- 新規に作成した定型文の本文を修正すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

定型文を削除： 定型文をロングタッチ→［削除］→［はい］

定型文のタイトルを修正： 定型文をロングタッチ→［タイトル変更］→内容を修正→［OK］

カテゴリーを追加： ［メニュー］→［カテゴリー］→［メニュー］→［新規作成］→カテゴリー名を入力→［OK］

カテゴリーを変更： 定型文をロングタッチ→［カテゴリー移動］→移動先のカテゴリーを選択

お買い上げ時の状態に戻す： ［メニュー］→［初期化］→［はい］

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。
- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 ［切り取り］（切り取り）／［コピー］（コピー）

■ Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、表示されるメニューから［テキストを選択してコピー］をタップします。

2 ［コピー］（コピー）

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動してロングタッチ→［貼り付け］

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。［ホーム］を押していつでも呼び出すことができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ステータスバー→P34**
ステータスバーを下方向にドラッグすると、通知パネルが表示されます。→P35

② **インジケータ**
ホーム画面の現在位置を示します。

③ **カスタマイズエリア**
ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

④ **ドック**
ホーム画面に表示されます。

✔お知らせ

- ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］をタップして、設定メニューを表示できます。→P59

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示→カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 ［ショートカット］／［ウィジェット］／［フォルダ］／［グループ］→必要に応じて項目の選択や設定を行う

- 項目をロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。
- フォルダをロングタッチして［名称変更］をタップすると、フォルダ名を変更できます。

✔お知らせ

- ドックも同様にショートカット、フォルダ、グループを配置できます。ただし、［アプリ一覧］は移動／削除／変更できません。

❖ショートカットなどの削除

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 削除するショートカットなどをロングタッチ→［削除］

- ロングタッチした後、画面下の［ごみ箱］までドラッグしても削除できます。

❖アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 アンインストールするショートカットまたはウィジェットをロングタッチ→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえ]／[壁紙]／[壁紙ループ設定]→項目の選択や設定を行う

✔お知らせ

- きせかえや壁紙、壁紙ループ設定は、ホーム画面で[メニュー]→［きせかえ］／［壁紙］／［壁紙ループ設定］をタップしても設定できます。

◆ ホーム画面の追加／削除

最大12件のホーム画面を設定できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[ホーム画面一覧]

2 目的の操作を行う

追加：[+]

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動先へドラッグ

削除：[×]

- アイテムが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。
- ホーム画面のサムネイルをロングタッチした後、［削除］をタップしても削除できます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✔お知らせ

- ホーム画面の任意の位置でピンチインしたり、カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ→［ホーム画面一覧］をタップしたりしても、ホーム画面一覧を表示できます。
- ホーム画面で[メニュー]→［ヘルプ］をタップすると、docomo Palette UI操作ガイドが表示されます。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で[アプリ]

① アプリ一覧／おすすめアプリ切り替えタブ
② グループ
③ グループ内アプリケーション
④ グループ内アプリケーションの数

- 新着アプリケーションのアイコンには[新着]が表示されます。
- アプリケーションによっては、アイコンに未読件数が表示されます。

グループ内アプリケーションの表示／非表示：グループ名をタップ

全グループ内アプリケーションの表示／非表示：ピンチアウト／イン

ホーム画面へ追加：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→［ホームへ追加］

アプリ一覧／おすすめアプリの切り替え：［アプリ］／［おすすめ］

◆アプリケーション一覧

- アプリケーションによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

BOOKストア　マイ本棚：dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。

DiXiM：ホームネットワーク上のTV録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリケーションです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P99

Document Viewer：Microsoft officeファイルなどを表示できます。→P126

dマーケット：dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。→P102

dメニュー：ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。→P102

ecoモード：ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の消費を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。

Flash Player Settings：Flash Playerでのアプリケーションの実行方法を設定します。

Fイチ押しApps：富士通おすすめのアプリをダウンロードすることができます。

Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P89

Gガイド番組表：地上波・BSの番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索、ワンセグの視聴・録画予約、外出先からの遠隔録画も可能です。

Hulu：人気ハリウッド映画や海外ドラマが定額で楽しめるアプリです。

iD設定アプリ：電子マネー iDを利用するための設定を行うアプリです。→P105

ｉコンシェル：ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。

ｉチャネル：ｉチャネルを利用するためのアプリです。

JOOKEY：吉本芸人を中心とした有名人や専門家がお届けする情報バラエティ番組を視聴することができます。

Latitude：地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。→P123

Playストア：Google Playを利用できます。→P102

Playミュージック：音楽を再生します。

Qik Video：ソーシャルビデオシェアリング／ビデオチャット／ビデオメール／ビデオアーカイブなどの統合的なビデオコミュニケーションを、ひとつのアプリで簡単に楽しめるサービスです。

SDカードバックアップ：microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。→P127

spモードメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P84

TSUTAYA TV：映画やアニメなど広いジャンルの映像を好きな時にお楽しみいただけるサービスです。

YouTube：YouTubeの動画が見られます。→P120

あんしんスキャン：端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。

エリアメール：緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。→P89

オートGPS：お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるためのアプリです。

おサイフケータイ：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P104

カメラ：静止画や動画を撮影します。→P112

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P123

ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。→P117

ご当地ガイド：日本全国のおすすめスポットの写真や情報・各地のグルメ情報などを紹介し、街歩きをトータルにサポートします。

ジークラウド：NHN Japan提供のクラウド環境でゲームを楽しむためのアプリです。

スケジュール：スケジュールやメモを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。

スッキリ目覚まし：設定した時刻よりも早い時間帯で、快適に起きられる時刻に鳴動する目覚ましを設定できます。→P124

テレビ：ワンセグを視聴します。→P106

トーク：Googleトークを利用してチャットができます。→P90

ドコモバックアップ：「ケータイデータお預かりサービス」もしくは「電話帳バックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリです。また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。

トルカ：トルカの取得、表示、検索、更新などができます。→P106

ナビ：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。

ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P90

ホーム切替：ホームアプリを切り替えるためのアプリです。

マイコレクション：静止画や動画を表示します。閲覧中の静止画と同じ情報を持つコンテンツをなかまコレクションとして表示することができます。→P118

マチキャラ：端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、ｉコンシェルインフォメーションやメール受信、着信などの情報をお知らせします。

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。→P121

メール：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P86

メッセージ：SMSの送受信ができます。→P84

メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P119

メモ：スケジュールやメモを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。

モシモカメラ®：モシモカメラで撮影すると、被写体の動きや顔を検知してエフェクトを付けます。

もばいる：ひかりTVが提供する多チャンネル放送サービスの番組表を快適に閲覧できるアプリケーションです。

モバゲー：Mobage提供のコンテンツを楽しむためのアプリです。

ローカル：近くの場所の詳細情報を検索できます。→P123

健康生活日記：携帯電話とパソコンを使って、楽しくからだをデザインする健康サービスです。→P128

検索：本端末内の機能やWebサイトを検索します。→P126

声の宅配便：「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。

災害用キット：災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。

赤外線：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P93

設定：本端末の各種設定を行います。

地図アプリ：地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。

電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P125

電話：電話をかけたり、電話の設定を行うことができます。→P49

電話帳：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P53

電話帳コピーツール：microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。→P57

統合辞書＋：日本を代表する辞書をひとつのパッケージにおさめた、毎日の学習・仕事のあらゆるシーンに対応できる辞書ソフトです。→P125

取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

※「はじめに」の「操作説明」をご覧ください。

名刺作成：「電話帳」アプリ内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリです。

◆ アプリケーションメニューの管理

1 アプリケーションメニュー表示中に目的の操作を行う

アプリケーションのアンインストール：アプリケーションをロングタッチ→［アンインストール］→［OK］→［OK］

並べ替え：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→移動先へドラッグ

- アプリケーションをロングタッチした後、［移動］を選択しても移動できます。

グループの追加：［メニュー］→［グループ追加］→グループ名を入力→［OK］

- 最大50件のグループを設定できます。

グループ名の編集：グループをロングタッチ→［名称変更］→グループ名を入力→［OK］

グループのラベル変更：グループをロングタッチ→［ラベル変更］→ラベルを選択

グループの削除：グループをロングタッチ→［削除］→［OK］

表示形式の切り替え：［メニュー］→［リスト形式］／［タイル形式］

ホームアプリの情報確認：［メニュー］→［アプリケーション情報］

検索：［メニュー］→［検索］

- 端末内のアプリケーションやWeb上の情報を検索します。

✔お知らせ

- ［おすすめ］タブの［もっとアプリを見る］をタップすると、「dメニュー」のトップ画面が表示されます。

電話

電話をかける

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]

- ホーム画面で →［ダイヤル］をタップしても、電話をかけられます。

2 電話番号を入力→

- 訂正する場合は をタップします。

3 通話が終了したら[終了]

✔お知らせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本体にイヤホンを挿入している、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合、近接センサーを停止しますので、センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えなくなります。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、誤って画面に触れてしまい通話が遮断される場合があります。

◆ 緊急通報

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→緊急通報番号を入力

警察への通報：110
消防・救急への通報：119
海上での通報：118

2

✔お知らせ

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→電話番号を入力→[メニュー]→[発信者番号通知]→[通知する]／[通知しない]→[発信]

✔お知らせ

- 発信者番号通知サービスで通知／非通知を一括設定できます。→P53

◆ プッシュ信号（DTMFトーン）を入力

電話番号に続いてポーズ（;）を入力すると、プッシュ信号を送信できます。自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→電話番号を入力→[メニュー]→[待機を追加]→プッシュ信号を入力

- 「0」～「9」、「*」、「#」を入力します。
- 電話番号を入力→[メニュー]→［2秒間の停止を追加］をタップしてもポーズ（,）が入力できます。（,）の場合は、2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。
- 複数のメッセージを送信する場合は、ポーズで区切ります。

2 [発信]→電話がつながったら[送信]

✔お知らせ

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P51

◆ 国際電話（WORLD CALL）

「+」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングタッチすると「+」が入力されます。

- 海外利用→P129
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→「0」をロングタッチ→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力→[発信]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、[メニュー]→［国際電話発信］→国を選択します。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

▲▼：着信音、バイブレータの動作を止める

2 **[操作開始]→[通話]**

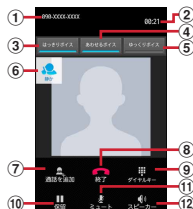
着信拒否：[拒否]
クイック返信：☰→[クイック返信]
応答保留：☰→[応答保留]
伝言メモ録音：伝言メモをタップ

3 **通話が終了したら[終了]**

✔**お知らせ**

- 録音した伝言メモを再生するには、アプリケーションメニューで［電話］→☰→［通話設定］→［伝言メモ］→［伝言メモリスト］→再生したい伝言メモを選択します。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

① **名前や電話番号、地域**
② **通話時間**
③ **はっきりボイスのON／OFF**※1
④ **あわせるボイスのON／OFF**
⑤ **ゆっくりボイスのON／OFF**※1
⑥ **はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示**
⑦ **別の相手に電話をかける**※2
⑧ **通話を終了**
⑨ **ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示**※1
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
⑩ **通話を一時保留**※1
⑪ **マイクをオフ（消音）**※1
自分の声が相手に聞こえないようにします。
⑫ **スピーカーフォンをオン**※1
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。
※2 キャッチホンのご契約が必要です。

◆ 通話音量

- 通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 **通話中に▲▼**

◆ はっきりボイス

電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

1 **通話中に[はっきりボイス]**

❖ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している電話中には、揺れや移動状況（歩行中、走行中、新幹線乗車中）などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

◆ ゆっくりボイス

電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

- 相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。

1 **通話中に[ゆっくりボイス]**

◆ あわせるボイス

聞こえかたを変化させた複数のサンプル音声から聞きとりやすいものを選択することで、利用者の好みに合わせて聞き取りやすくします。

- 初期設定の「自分からだ設定」（→P80）であわせるボイス設定をしておくと、お客様に合った聞こえかたに自動的に調節されます。

1 **通話中に[あわせるボイス]→調節レベルを選択**

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 **アプリケーションメニューで[電話]→[発着信リスト]**

① **着信履歴ボタン**
着信履歴のみを表示します。

② **発信履歴ボタン**
発信履歴のみを表示します。

③ **発信者番号通知アイコン**
通知あり指定の発信時に表示します。通知なし指定の発信時はが表示されます。

④ **国際電話アイコン**
国際電話発信時に表示します。国際電話着信時はが表示されます。

⑤ **履歴アイコン**
発信履歴は、着信履歴は、不在着信履歴はがそれぞれ表示されます。また、同じ相手と連続して発着信した場合はが表示されます。相手をタップすると履歴の詳細確認、もう一度タップすると元に戻ります。

⑥ **名前や電話番号**
タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、履歴を削除したり電話番号を編集して発信したりできます。

⑦ **発信アイコン**
タップして電話を発信します。

■ 履歴画面のサブメニューについて

履歴画面で[≡]を押して、全件削除、電話アプリ起動時の画面に設定、相手の居場所の確認（イマドコかんたんサーチ）ができます。

通話設定／その他

通話設定から、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[≡]→[通話設定]→[ネットワークサービス]

2 利用したいサービスを選択

声の宅配便：サービスの利用、設定確認・変更を行います。

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

発信者番号通知：通知設定、設定確認を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定：着信設定を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

- 公共モード（ドライブモード）を設定するには、ホーム画面で[≡]→［本体設定］→［音・振動］→［公共モード］にチェックを付けます。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]

① **名前**

タップしてプロフィール画面を表示します。サムネイル画像をタップすると、電話発信、SMS送信などができます。

② **登録ボタン**

電話帳を新規作成します。

③ **グループボタン**

電話帳グループを表示します。

④ **検索ボタン**

電話帳検索画面を表示します。

⑤ **インデックスボタン**

電話帳に登録されているデータを、「あ、か、さ…」毎に区切り表示します。→P54

■ 電話帳リストのサブメニューについて

電話帳リストで[≡]を押して、削除や電話帳のインポート／エクスポート（→P56）、センターと同期、赤外線送信、表示順の変更などができます。

◆ 電話帳を登録

1 **電話帳リストで[登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録完了]**

❖ 履歴から電話帳を登録

1 **履歴画面で相手を選択→[電話帳に登録]**

- 必要に応じてアカウントを選択します。

2 **[新規登録]→各項目を設定→[登録完了]**

- すでに登録済みの電話帳に追加登録する場合は、登録したい電話帳の名前を選択します。

◆ 電話帳の編集

1 **電話帳リストで編集したい連絡先を選択→[編集]→変更したい項目を入力→[登録完了]**

◆ 電話帳の削除

1 **電話帳リストで削除したい連絡先を選択→[≡]→[削除]→[OK]**

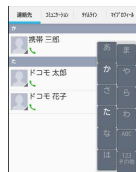
- 電話帳リストで[≡]→［削除］をタップすると、削除したい連絡先を選択して削除が可能です。［全選択］をタップすると、全件削除できます。

◆ 電話帳を検索

電話帳を50音で検索できます。

1 **電話帳リストで[インデックス]**

50音インデックス「あ、か、さ…」が表示されます。

2 **検索したい文字をタップ**

- 電話帳リストは、選択した電話帳を先頭にして表示されます。

❖ 表示する電話帳の設定

特定のアカウントのグループに含まれる電話帳の表示／非表示を設定できます。

1 **電話帳リストで[≡]→[その他]→[表示するアカウント]→表示する電話帳を設定**

◆ 電話帳をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に電話帳を表示できます。

1 電話帳リストで[グループ]→グループを選択

- ［閉じる］をタップすると、グループリストが閉じます。

❖ グループの新規作成

1 グループリストで[追加]→各項目を設定→[OK]

グループ名の編集：グループリストで編集したいグループをロングタッチ→［グループ編集］→各項目を設定→［OK］

グループの削除：グループリストで削除したいグループをロングタッチ→［グループ削除］→［OK］

✔**お知らせ**

- 「すべて」、「グループなし」、「お気に入り」、Google既定のグループでの編集／削除はできません。

❖ 電話帳のグループ登録

1 グループリストで電話帳をロングタッチ→そのまま登録先グループの上にドラッグ＆ドロップ

グループから削除：グループリストで登録中のグループをタップ→電話帳をロングタッチ→そのまま登録中グループの上にドラッグ＆ドロップ

✔**お知らせ**

- docomoアカウント、Googleアカウントでのみグループ登録が可能です。

◆ コミュニケーション

電話発着信履歴、spモードメール送受信履歴、SMS送受信履歴、SNSのメッセージを表示します。履歴から、電話発信やSMSなどの送信を行うことができます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]→[コミュニケーション]

表示項目の変更：［表示項目］→表示する項目をチェック→［OK］

◆ タイムライン

SNS連携機能で設定したSNS・ブログのタイムラインを表示します。タップすると詳細画面が表示され、コメントなどの投稿をすることができます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]→[タイムライン]

表示項目の変更：［表示項目］→表示する項目をチェック→［OK］

◆ プロフィール画面の表示

1 電話帳リストで名前を選択

① **アカウントアイコン**
② **顔写真と名前**
③ **電話帳のグループ**
④ **個人登録情報**
項目をタップして、電話を発信したり、Eメールを送信したりできます。また、ロングタッチするとオプションを表示します。
⑤ **お気に入り**
docomoアカウントの場合、タップすると「お気に入り」に追加されます。
⑥ **SMS送信**
タップすると、SMSを送信できます。
⑦ **声の宅配便発信**
タップすると、声の宅配便に発信できます。

■ プロフィール画面のサブメニューについて

プロフィール画面で［≡］を押して、赤外線、共有、削除、着信音の設定、統合／分割などができます。

◆ 電話帳のインポート／エクスポート

1 電話帳リストで［≡］→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモminiUIMカードに保存した電話帳から追加したい電話帳を指定してインポートします。電話番号、メールアドレスともに「その他」としてインポートされます。
SDカードからインポート：microSDカードに保存されている電話帳データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。
SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く電話帳データ（vCardファイル）を、microSDカードに保存します。
表示可能な電話帳を共有：電話帳データをBluetooth通信やメールに添付して全件送信します。

✔お知らせ

- 他の端末との間で電話帳データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポートや電話帳コピーツールをご利用ください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「マイプロフィール」が受信されない場合があります。
- 本端末からスマートフォン以外の端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。
- SDカードバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は、「SDカードバックアップ」をご覧ください。→P127

◆ マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]→[マイプロフィール]→[編集]→各項目を設定→[登録完了]

✔お知らせ

- SNS連携機能の利用を開始するには「SNS・ブログ」の項目でご自身のSNS情報を追加してください。利用を停止するには、[メニュー]→［全体設定］→［SNS連携機能の利用停止］をタップします。
- SNS連携機能について、その他の便利な機能はアプリ内のヘルプをご覧ください。

❖名刺の作成

マイプロフィールから名刺を作成し、相手と交換できます。

- 初回起動時は、名刺作成アプリのガイダンス画面が表示されますので［利用開始］をタップします。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]→[マイプロフィール]

2 [新規作成]→[利用開始]→テンプレートを選択→[選択]→[決定]→[編集ツール]→各項目を編集

編集：［名刺編集］→［編集ツール］→各項目を編集→［編集完了］→［上書き保存］／［新規保存］

削除：［名刺削除］→［OK］

3 [編集完了]→保存先を選択

- 名刺交換を行う場合は、保存先に電話帳（マイプロフィール）を選択する必要があります。

❖名刺の交換

対応機種どうしであれば、作成した名刺を相手と交換できます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳]→[マイプロフィール]→[この名刺を交換する]→ガイダンスに従って操作

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳コピーツール]

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ 電話帳をmicroSDカードにエクスポート

1 microSDカードを本端末に取り付ける

2 [エクスポート]タブ画面で[開始]

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

◆ 電話帳をmicroSDカードからインポート

1 電話帳データが保存されたmicroSDカードを本端末に取り付ける

2 [インポート]タブ画面でインポートしたいファイル選択→[上書き]／[追加]

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

◆ Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピー

1 **[docomoアカウントへコピー]タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントを選択→[上書き]／[追加]**

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

✔お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、［一括バックアップ］で作成したファイルは読み込むことができません。
- 電話帳コピーツールで作成（エクスポート）した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

■ プロフィール

マイプロフィール：お客様の電話番号や［マイプロフィール］に登録したご自身の情報を表示します。→P57

初期設定：本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。→P33

■ 無線とネットワーク

Wi-Fi：Wi-FiネットワークとWi-Fiの詳細設定などを行います。→P63

Wi-Fi簡単登録：簡単な操作で無線LANアクセスポイントに接続できます。→P64

Bluetooth：Bluetooth機能の設定を行います。→P94

FMトランスミッタ：FMトランスミッタの設定を行います。→P65

データ使用：LTE／3G／GSMネットワークの利用や、パケット通信でのデータ量の設定などを行います。→P65

その他：機内モードやテザリングなどの設定を行います。

- 機内モード→P65
- VPN設定→P66
- テザリング→P66
- Wi-Fi Direct→P68
- モバイルネットワーク→P61、68、131

■ 端末

通話設定：ドコモのネットワークサービスやインターネット通話などの設定を行います。

- ネットワークサービス→P53
- 伝言メモ→P51
- 海外設定→P132
- 通話詳細設定
- クイック返信
- オープンソースライセンス→P83
- アカウント
- インターネット通話を使用

音・振動：公共モードやマナーモード、バイブレーション、着信音などの設定を行います。

- 音量→P69
- 公共モード→P53
- マナーモード→P69
- マイク入力→P70
- 着信音→P70
- 通知音→P70
- バイブレーションと着信音→P70
- ダイヤルパッドのタッチ操作音→P70
- タッチ操作音→P70
- 画面ロックの音→P70
- 充電通知バイブ→P70
- ロック解除時バイブ→P70
- タッチ操作バイブ→P70

ディスプレイ：画面の明るさやフォントなどの設定を行います。

- 画面の明るさ→P71
- スリープ→P71
- フォトスクリーン→P70
- 壁紙→P45
- ロック画面の表示→P70
- ロック画面の消灯時間→P70
- 画面の自動回転→P71
- フォント→P71
- フォントサイズ→P71

マルチメディア：動画（ワンセグやYouTubeなど）の画質補正などを設定します。
- 動画補正→P72
- Dolby Mobile設定→P72
- 動画ジャンル設定→P72
- 音楽ジャンル設定→P72
- エフェクト自動設定→P72
- HDMI設定→P98

ストレージ：空き容量表示やmicroSDカードのデータ消去などを行います。
- 内蔵ストレージ内データを消去
- SDカードのマウント解除／SDカードをマウント→P72
- SDカード内データを消去→P72
- USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント→P97

電池：電池残量や電池使用量などを表示します。

NX!エコ：画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えます。→P73

アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。→P74

■ ユーザー設定

ドコモサービス：ドコモの提供するアプリの設定などを行います。
- アプリケーション管理
- Wi-Fi
- ドコモアプリパスワード
- オートGPS
- ドコモ位置情報
- オープンソースライセンス→P83

アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。→P74

位置情報サービス：現在地情報の設定やGPS機能などの使用について設定します。
- Googleの位置情報サービス→P121
- GPS機能→P121
- 位置情報とGoogle検索→P121

セキュリティ：画面ロックやパスワードなどの設定を行います。
- 画面ロックの認証設定→P77
- セキュリティ解除方法→P77
- 所有者情報→P79
- 端末の暗号化→P79
- SIMカードロック設定→P76
- パスワードを表示する→P79
- パスワードマネージャー→P79
- デバイス管理機能の選択
- 提供元不明のアプリ→P79
- 信頼できる認証情報→P80
- SDカードからインストール→P80
- 認証ストレージの消去→P80

自分からだ設定：基本情報を入力し、歩数／活動量計測アプリの設定を行います。→P80
- 基本情報
- あわせるボイス
- ウォーキング／Exカウンタ利用設定

言語と入力：使用言語やキーボードの設定、テキスト読み上げの設定などを行います。
- Language→P81
- スペルチェッカー
- ユーザー辞書→P42
- デフォルト→P41
- 音声検索→P82
- テキスト読み上げの出力→P82
- ポインタの速度

バックアップとリセット：データの初期化などを行います。
- データ移行モード
- データの初期化→P140

■ システム

日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。→P82

- 日付と時刻の自動設定
- タイムゾーンを自動設定
- 日付設定
- 時刻設定
- タイムゾーンの選択
- 24時間表示
- 日付形式

ユーザー補助：ユーザー操作を補助する設定を行います。→P82

- 大きい文字サイズ
- 電源ボタンで通話を終了
- 画面の自動回転
- パスワードの音声出力
- 押し続ける時間
- ウェブスクリプトをインストール

開発者向けオプション：USBデバッグや擬似ロケーション、ユーザーインターフェース、アプリケーションなどのソフトウェア開発者用機能の設定を行います。

- USBデバッグ
- 開発端末ID
- スリープモードにしない
- 疑似ロケーションを許可
- 厳格モードを有効にする
- ポインタの位置
- タップを表示
- CPU使用状況を表示
- ウィンドウアニメスケール
- トランジションアニメスケール
- すべてのANRを表示

端末情報：本端末の各種情報を表示します。→P83

✔お知らせ

- ［開発者向けオプション］のUSBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/
- ［開発者向けオプション］のUSBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
http://developer.android.com/

無線とネットワーク

- Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」をご覧ください。→P94

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P66

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［その他］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

2 **［メニュー］→[新しいAPN]**

3 **[名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]**

4 **[APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→［メニュー］→[保存]**

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名画面に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、［新しいAPN］で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

2 **［メニュー］→[初期設定にリセット]**

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択し［メニュー］→［APNを削除］をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することもできます。

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

2 **[mopera U]／[mopera U設定]**

✔お知らせ

- ［mopera U設定］は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

■ 利用できるチャンネル

日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］

2 ［Wi-Fi］を［ON］

- 通知パネルの設定スイッチでもON／OFFを設定できます。

3 ［Wi-Fi］→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［Wi-Fi］→［スキャン］

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。
- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［Wi-Fi］

2 ［ネットワークを追加］

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→［保存］

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［Wi-Fi］

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→［切断］

✔お知らせ
- Wi-FiをOFFにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-FiのON時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［Wi-Fi］

2 ［≡］→［詳細設定］

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するように設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面がオフになったときや充電しているときに、Wi-Fiを使用するかを設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

◆Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［Wi-Fi簡単登録］

2 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式］→アクセスポイント側で操作
- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ
- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

◆ FMトランスミッタ

本端末に保存した音楽などをFM電波で送信して、FMラジオやカーステレオなどで聴くことができます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]

2 [FMトランスミッタ]を[ON]

3 [FMトランスミッタ]→[周波数設定]→周波数を選択

4 受信機器側で周波数を合わせる

✔**お知らせ**

- 本端末が次の状態の場合は、FMトランスミッタを利用できません。また、FMトランスミッタがONのときに次のような状態になった場合、FMトランスミッタは自動的にOFFになります。ただし、音声通話中と電話着信中はOFFにはなりませんが、音声は出力されません。
  - 音声通話中、電話着信中、機内モード中、Bluetooth機能ON中、イヤホン接続中、HDMI出力中、国際ローミング中
  - 電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態のとき

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[データ使用]

2 [モバイルデータ]を[ON]

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［モバイルデータの制限を設定する］にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- ［モバイルデータの制限を設定する］にチェックを付けた状態で、[メニュー]→［バックグラウンドデータ制限］にチェックを付けるとバックグラウンドデータを制限することができます。

◆ 機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能、FMトランスミッタ）が無効になります。ただし、Wi-FiおよびBluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[その他]→[機内モード]にチェック

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

❖VPNの追加

1 **ホーム画面で［MENU］→［本体設定］→［その他］→［VPN設定］→［VPNネットワークの追加］**

2 **VPN設定の各項目を設定→［保存］**

❖VPNへの接続

1 **ホーム画面で［MENU］→［本体設定］→［その他］→［VPN設定］**

2 **接続するVPNを選択**

3 **必要な認証情報を入力→［接続］**

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

❖VPNの切断

1 **通知パネルを開く**

2 **VPN接続中を示す通知を選択**

3 **VPN設定画面で接続中のVPNをタップ**

◆ テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fiで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

✔お知らせ

- ホーム画面で［MENU］→［本体設定］→［その他］→［テザリング］→［ヘルプ］で、テザリングについての情報を見ることができます。

❖USBテザリング

本端末を付属のPC接続用USBケーブル T01でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 **本端末とパソコンをUSBケーブルで接続**

2 **ホーム画面で［MENU］→［本体設定］→［その他］→［テザリング］**

3 **［USBテザリング］にチェック**

- Windows XPパソコンをお使いの場合はUSBテザリングをOFFにせずに、パソコンからUSBケーブルを取り外してください。

4 **注意事項の詳細を確認して［OK］**

✔お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境は次のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7
- Windows XPパソコンでUSBテザリングを行うには、パソコン側に専用ドライバをインストールする必要があります。専用ドライバのダウンロードについては、次のサイトをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/usb/

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を8台まで同時接続できます。
- 日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖Wi-Fiテザリングの設定

Wi-FiテザリングをONにして、接続の設定を行います。

- お買い上げ時の状態では、セキュリティには［WPA/WPA2 PSK］が、［パスワード］にはランダムな値が設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［その他］→［テザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング］にチェック

- 通知パネルの設定スイッチでもON／OFFを設定できます。

3 注意事項の詳細を確認して［OK］

4 ［ネットワークSSID］→ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「F-05D_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、［Wi-Fiアクセスポイントを設定］を選択すると設定画面が表示されます。

5 ［セキュリティ］→セキュリティを選択

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA PSK TKIP］［WPA PSK AES］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定可能です。

6 ［パスワード］→パスワードを入力→［保存］

❖Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[テザリング]→[Wi-Fi簡単登録]**

2 **登録方式を選択**

AOSS™方式：［AOSS方式］→Wi-Fi対応機器側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式］→各種操作→登録画面で［OK］

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は［はい］をタップしてください。
- AOSS™設定を解除するには、［Wi-Fiアクセスポイントを設定］画面で［AOSS解除］をタップします。
- Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆Wi-Fi Directの設定

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

- 本機能は、PlayストアからWi-Fi Direct機能を利用するアプリケーションを入手し、インストールすることで利用できます。

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[Wi-Fi Direct]にチェック／チェックを外す**

◆パケット接続の停止

アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]**

2 **[データ通信を有効にする]のチェックを外す**

音・振動

- 公共モード（ドライブモード）については、「通話設定／その他」をご覧ください。→P53

◆ マナーモードの設定

マナーモードを設定／解除します。
- マナーモードの種類は変更できます。→P69

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[音・振動]→[マナーモード]**

2 **[マナーモードを有効]にチェック**

ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P34

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[音・振動]→[マナーモード]→[マナーモード選択]**

2 **項目を選択**

通常マナー：本端末から音を鳴らしません。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。
オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

❖オリジナルマナーを設定

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[音・振動]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]**

2 **[音量]**

3 **[音声着信音量]／[メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]**

4 **スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→［↩］**

5 **[バイブレーション]**

6 **[音声着信]／[アラーム]／[通知]にチェック／チェックを外す**

◆ 音量調節

メディア再生音、着信音／通知音、アラームの音量を調節できます。

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[音・振動]→[音量]**

2 **スライダーをスライドして音量を調節→[OK]**

◆ 着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［音・振動］**

2 **各項目を設定**

マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は［端末のマイク］を選択してください。
着信音：電話着信音を設定します。
通知音：通知音を設定します。
バイブレーションと着信音：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかどうかを設定します。
ダイヤルパッドのタッチ操作音：ダイヤルパッドのタッチ操作音のオン／オフを切り替えます。
タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ：ロック画面の［ロック］をタップして解除したときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ：［ホーム］（1秒以上）操作時などのバイブレーションのオン／オフを切り替えます。

✔お知らせ

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

ディスプレイ

◆ ロック画面の設定

❖ロック画面の表示設定

ロック画面を表示するかを設定します。

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［ディスプレイ］→［ロック画面の表示］にチェック／チェックを外す**

❖ロック画面の消灯時間設定

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［ディスプレイ］→［ロック画面の消灯時間］→時間を選択**

❖ロック画面の背景画像設定

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［ディスプレイ］→［フォトスクリーン］**

2 **［画像設定］→各項目を設定**

- ［Flickr］／［Picasa］を選択した場合は、Flickr／Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。選択後は、［更新間隔］と［利用するネットワーク］を設定します。
- ［更新間隔］で［指定時刻］を選択した場合は、［更新時刻の指定］を選択して時刻を指定します。

✔お知らせ

- ［更新時刻の指定］で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。

◆ 画面の設定

❖画面の明るさ設定

1 ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]

2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、［明るさを自動調整］にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。

❖画面の消灯時間設定

1 ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]→時間を選択

❖画面の自動回転

1 ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[ディスプレイ]

2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✔**お知らせ**

- カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

❖画面の表示フォント設定

画面の表示フォントの種類やサイズを変更します。

1 ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]→[ディスプレイ]

2 目的の操作を行う

フォント：［フォント］→フォントを選択→［OK］
フォントサイズ：［フォントサイズ］→サイズを選択

✔**お知らせ**

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォント設定が反映されます。
- アプリケーションやWebサイトによっては、フォント設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。
- ［オリジナル手書きフォント］の［個別文字編集］で作成した文字と自分の手書文字を交換した場合、文字によっては文章の意味がわかりにくくなることがありますのでご注意ください。

マルチメディア

◆ 動画補正

動画（ワンセグやYouTubeなど）の画質補正をするかを設定します。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［マルチメディア］

2 ［動画補正］にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、720p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。

◆ Dolby Mobile設定

動画や音楽を再生するときのDolby Mobile機能の設定をします。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［マルチメディア］→［Dolby Mobile設定］

2 ［動画ジャンル設定で使用］／［音楽ジャンル設定で使用］

3 ［動画ジャンル設定］／［音楽ジャンル設定］でジャンルを選択

ステータスバーに が表示されます。アイコンは設定するジャンルにより異なります。

✔お知らせ

- ［エフェクト自動設定］は、お買い上げ時に［Playミュージック］のみで動作します。
- Dolby Mobileを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大記憶容量装置（USBマスストレージ）の空き容量を確認します。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［ストレージ］

- microSDカードは「空き容量」の他に、アプリケーションが含まれる場合は「アプリケーション」の容量が表示されます。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［ストレージ］→［SDカードのマウント解除］

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

2 ［SDカード内データを消去］→［SDカード内データを消去］

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

3 ［すべて消去］

NX!エコ

電池残量や設定した時間に、画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えます。

◆ エコモードの設定

エコモードを設定／解除します。

1 ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［NX!エコ］→各モードを［ON］

タイマーエコモード：設定した時間帯にエコモードになります。
電池残量エコモード：設定した電池残量より少なくなるとエコモードになります。
今すぐエコモード：選択後すぐにエコモードになります。

ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはエコモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P34

✔お知らせ

- エコモードは①今すぐエコモード、②電池残量エコモード、③タイマーエコモードの優先順位で動作します。
- ［充電時はエコモードを解除する］にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- お買い上げ時やOSバージョンアップ後は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量エコモード」が起動しないことがあります。

❖エコレベルの設定

1 ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［NX!エコ］→モード内の［エコレベル］

2 モードを選択→［決定］

［確認］をタップすると各レベルの設定値を確認できます。オリジナルの設定値に変更することもできます。→P73

❖オリジナルエコレベルを設定

1 ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［NX!エコ］→モード内の［エコレベル］

2 ［オリジナルエコモード］→［編集］→各項目を設定→［完了］→［OK］

アプリケーション

◆ 本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、［すべて表示］をタップします。

◆ アプリケーションのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択→［データを消去］／［キャッシュを消去］

- ［データを消去］の場合は［OK］をタップします。

◆ アプリケーションの削除

- Playストアから入手したアプリケーションは、Playストア画面から削除することをおすすめします。→P103
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択→［アンインストール］→［OK］→［OK］

◆ アプリケーションの無効化

- アプリケーションの無効化は、アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスで利用できます。無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧に表示されず、起動もできなくなりますがアンインストールはされていません。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択→［無効にする］／［有効にする］

- 無効にするかの確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。

✔お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリケーションを有効にすることで正しく動作します。

アカウントと同期

◆ アカウントの追加

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［アカウントと同期］

2 ［アカウントの追加］→アカウントの種類を選択→各項目を設定

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- Picasaへのログイン用に設定しているGoogleアカウントを、本端末のGoogleアカウントとして登録してください。本端末にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaのアカウントを新規に取得しても、本端末のGoogleアカウントの同期項目にPicasaは表示されません。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

◆ アカウントの削除

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→[≡]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoアカウントは削除できません。

◆ 自動同期の設定

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[アカウントと同期]

2 [アカウントと同期]を[ON]

◆ 手動で同期を開始

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→[≡]→[今すぐ同期]

❖ 同期の中止

1 同期中に[≡]→[同期をキャンセル]

ロック／セキュリティ

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なおdメニューからは、dメニュー→「お客様サポートへ」→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、本書巻末の1つ前のページ（アプリケーションの「取扱説明書」では、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P77
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

［SIMカードをロック］にチェックが付きます。

- 設定を解除するには、［SIMカードをロック］→PINコードを入力→［OK］でチェックを外します。

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

PINコードを変更するには、あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 **ホーム画面で→[本体設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]**

2 **[SIM PINの変更]**

3 **現在のPINコードを入力→[OK]**

4 **新しいPINコードを入力→[OK]**

5 **新しいPINコードを再入力→[OK]**

❖PINコードの入力

1 **電源を入れる→PINコード入力画面でPINコードを入力→[OK]**

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 **PUKコード欄にPINロック解除コードを入力**

2 **新しいPINコード欄に新しいPINコードを入力→[OK]**

◆ セキュリティロック

ロック画面で認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぐことができます。
また、パスワードマネージャーを利用する場合もセキュリティ解除設定で設定した認証操作を利用できます。

❖画面ロックの認証設定

スリープモードから復帰したときに、画面で認証操作をするように設定します。

- 画面ロックの認証設定を有効にするには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。

1 **ホーム画面で→[本体設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの認証設定]→認証操作**

❖セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除や、パスワードマネージャーなどで使用する認証操作の種類を設定します。

1 **ホーム画面で→[本体設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]**

2 **認証操作**

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 **解除方法を選択**

パターンの入力で解除：[パターン］→垂直、水平、対角線方向に最低4つの点を結ぶようにスライドしてパターンを入力→［次へ］→同じパターンを入力→［確認］

- 初めて設定するときは、「携帯端末の保護」と「パターン例」が表示されます。

暗証番号の入力で解除：[暗証番号］→4～16桁の暗証番号を入力→［次へ］→暗証番号を再入力→［OK］

パスワードの入力で解除：[パスワード］→アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力→［次へ］→パスワードを再入力→［OK］

顔認証で解除：[顔認証］→［セットアップ］→［続行］→ガイド枠に顔を合わせる→［次へ］→バックアップのロックを選択→セキュリティ解除方法を設定→［OK］

✔お知らせ

- 顔認証に設定した場合、画面ロックの解除のみ顔認証で操作します。画面ロックの解除以外のセキュリティ解除では、バックアップのロックで選択した解除方法で操作します。
- 設定中のパターン、暗証番号、パスワードの変更や顔認証の精度を改善するには、ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［セキュリティ］→［パターンの変更］／［暗証番号の変更］／［パスワードの変更］／［顔認識の精度を改善］をタップして操作してください。
- 画面ロック解除時にパターンを表示させたくない場合は、ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［セキュリティ］→［パターンを表示する］をタップしてチェックを外します。
- パターン、暗証番号、パスワードの入力時に振動させたい場合は、ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［セキュリティ］→［タッチ操作バイブ］をタップしてチェックを付けます。

❖画面の自動ロック

- 画面の自動ロックを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［セキュリティ］→［自動ロック］→時間を選択

スリープモードになってから設定した時間が経過すると、自動的に画面ロックがかかります。

❖画面の手動ロック

1 ［電源］

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

1 スリープモード中に［電源］または［⌂］

2 セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作

- ロック画面の表示設定（→P70）によっては、ロック画面で［ロック］の操作は不要です。

［パターン］の場合：**ロック画面で［ロック］→パターンを入力**

［暗証番号］の場合：**ロック画面で［ロック］→暗証番号を入力→［OK］**

［パスワード］の場合：**ロック画面で［ロック］→パスワードを入力**

［顔認証］の場合：**ロック画面で［ロック］→ディスプレイに顔を向ける**

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいセキュリティ解除方法を設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- ロックが解除されなくても、ロック解除画面から緊急通報できます。→P49
- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

1 ロック解除画面で［パターンを忘れた場合］／［暗証番号を忘れた場合］／［パスワードを忘れた場合］→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいセキュリティ解除方法を設定

❖ロック画面に所有者情報を表示

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[所有者情報]

2 所有者情報を入力

- ［ロック画面に所有者情報を表示］のチェックが外れている場合は、タップしてチェックを付けます。

◆ 端末の暗号化

電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードの入力が必要になるように設定します。解除するには、本端末の初期化が必要です。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[端末の暗号化]→[携帯端末を暗号化]→認証操作→[携帯端末を暗号化]

◆ パスワード表示

パスワードを入力するときに、入力した文字を表示するように設定できます。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[パスワードを表示する]にチェック

◆ パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーを利用するにはセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P77
- 最大50件登録できます。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[パスワードマネージャー]→認証操作

2 [+新規登録]→各項目を設定→[OK]

パスワードの編集：タイトルをタップ→各項目を編集→［OK］
パスワードの削除：タイトルをロングタッチ→［削除］→［OK］

◆ 提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認後に[OK]

- 設定を解除するには、［提供元不明のアプリ］をタップしてチェックを外します。

◆ 認証情報の管理

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPNに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

❖認証情報や証明書のインストール

microSDカードから認証情報や証明書をインストールします。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[SDカードからインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書を消去します。

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[認証ストレージの消去]

2 [OK]

自分からだ設定

健康系のアプリケーションやウィジェットで利用する基本情報や、あわせるボイス、ウォーキング／Exカウンタの設定を行います。

- あわせるボイスについては「あわせるボイス」をご覧ください。→P52

1 ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[自分からだ設定]

2 各項目を設定

歩数／活動量／カロリー情報の全履歴削除：
［ウォーキング／Exカウンタ利用設定］→［実行］→［はい］

❖ウォーキング／Exカウンタご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われないことがあります。

✔**お知らせ**

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や空の状態で約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

言語と入力

- NX!inputのキーボードの設定については「NX!inputとATOKの設定」をご覧ください。→P42
- Androidキーボードなど、他の入力方法への切り替えについては、「他の入力方法に切り替え」をご覧ください。→P41

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[言語と入力]→[Language]→[English]**

✔**お知らせ**

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で[≡]→［Settings］→［Language & input］→［言語］→［日本語］

◆ Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

1 **ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[言語と入力]→[Androidキーボード]の[設定アイコン]→各項目を設定**

❖単語を登録

1 **ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[言語と入力]→[ユーザー辞書]**

2 **[＋]→単語を入力→[OK]**

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 **ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［言語と入力］→［音声検索］→各項目を設定**

言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。

セーフサーチ：画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。

不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

1 **ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［言語と入力］→［テキスト読み上げの出力］**

2 **［音声の速度］→速度を選択**

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

1 **ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［日付と時刻］→各項目を設定**

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

- 初めて起動したときは、ユーザー補助プラグインを入手するかの確認画面が表示されます。

1 **ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［ユーザー補助］→各項目を設定**

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P142

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを確認します。

法的情報：オープンソースライセンスやGoogle利用規約を確認します。

モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 **アプリケーションメニューで[spモードメール]**

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 **アプリケーションメニューで[メッセージ]→**

2 **[To]→携帯電話番号を入力**

3 **[メッセージを入力]→メッセージを入力→**

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P74、103

◆ 送受信したSMSの表示

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

◆ SMSに返信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→

◆ SMSを転送

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→メッセージをロングタッチ→[転送]

3 [To]→携帯電話番号を入力→

◆ SMSを削除

〈例〉SMSを1件削除する

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→メッセージをロングタッチ→[削除]

メッセージスレッドの削除：メッセージスレッドをロングタッチ→

すべてのメッセージスレッドの削除：→[すべてのスレッドを削除]

3 [削除]

◆ SMSの設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→→[設定]

2 各項目を設定

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

メッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ mopera Uのメールアカウントの設定

mopera Uのアカウントを設定して、mopera Uメールを利用します。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■ POPサーバーを利用する場合

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→mopera Uのメールアドレスを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[手動セットアップ]→[POP3]

3 [ユーザー名]→mopera UのユーザIDを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[POP3サーバー]→「mail.mopera.net」を入力

4 [セキュリティの種類]→セキュリティを選択

5 入力内容を確認→[次へ]

6 [SMTPサーバー]→「mail.mopera.net」を入力→mopera UのユーザIDとパスワードの入力内容を確認→[次へ]

7 オプションの設定画面で[受信トレイを確認する頻度]などを設定→[次へ]

8 メールアカウントの登録画面で[あなたの名前]→名前を入力→[次へ]

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で［≡］→［設定］→［アカウントを追加］をタップします。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]
- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→メールアドレスを入力
- CcやBccを追加する場合は、→［Cc／Bccを追加］をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→メッセージを入力
- ファイルを添付する場合は、→［ファイルを添付］→ファイルを選択します。

6

✔お知らせ
- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]
- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには

3 Eメールを選択

✔お知らせ
- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知（→P88）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2

全員に返信：→［全員に返信］

3 [メールを作成します]→メッセージを入力→

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示→[icon]→[転送]→[To]→メールアドレスを入力→[icon]

◆ Eメールを削除

1 Eメールを表示→[icon]

◆ Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [menu]→[設定]→[全般]

3 各項目を設定

自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。
全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信するかを設定します。
画像の自動表示を解除：インライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖Eメールのアカウント設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [menu]→[設定]→アカウントを選択

3 各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。
受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。
添付ファイルのダウンロード：IMAPアカウントの場合、Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定：受信サーバーについて設定します。
送信設定：送信サーバーについて設定します。
アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖Eメールのバックアップ／復元

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [menu]→[設定]→[バックアップ／復元]→[microSDへバックアップ]／[本体へ復元]→[開始]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P90

◆ 受信したエリアメールの表示

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→エリアメールを選択

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→ ≡ →[設定]

2 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Googleトーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖Googleトークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]

友だちリストが表示されます。

- Googleトークの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Googleトークの友だちリストで ≡ →［ヘルプ］

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。（拡大アイコン）で拡大し、（縮小アイコン）で縮小します。

- 現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（アイコン）／無効（アイコン）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]

ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。

2 画面を下にスライド→アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 [Go]／キーワードの候補を選択

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下にスライド→画面上部の

2 ＋

新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。

切り替え：ブラウザウィンドウを選択

閉じる：ブラウザウィンドウの×

シークレットタブでWebサイトを表示：→［新しいシークレットタブ］→アドレスバーにURL／キーワードを入力して操作

- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に→[ブックマーク]→[履歴]

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

2 Webサイトの履歴を選択

◆ Webページを保存して表示

表示中のWebページを保存してオフラインで表示します。

❖ Webページの保存

1 Webサイト表示中に→[オフラインで読めるよう保存]

❖ 保存したWebページの表示

1 Webサイト表示中に→[ブックマーク]→[保存したページ]

2 保存したページを選択

削除：保存したページをロングタッチ→［保存したページを削除］

- 保存したページを表示しているウィンドウは画面上部にが表示されます。

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に→[ブックマークを保存]

ブックマークの詳細情報が表示されます。

2 [OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークをロングタッチ→［編集］→各項目を設定→［OK］

削除：ブックマークをロングタッチ→［削除］→［OK］

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- タップしてWebサイトを開きます。
- ロングタッチしてWebサイトを新しいタブで開く、リンクを保存、コピーします。

電子メールアドレスの場合

- タップしてメールを作成します。
- ロングタッチしてメールアドレスをコピーします。

電話番号の場合

- タップして電話番号に発信します。
- ロングタッチして電話番号を連絡先に追加、コピーします。

ファイルの場合

- タップしてファイルを閲覧／保存します。
- ロングタッチしてファイルを保存します。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、Document Viewerなどで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 **Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]**

- 保存した画像は、ギャラリー（→P117）で確認できます。

◆ ブラウザの設定

1 **Webサイト表示中に［≡］→[設定]→[全般]／[プライバシーとセキュリティ]／[ユーザー補助]／[高度な設定]／[帯域幅の管理]／[Labs]**

2 **各項目を設定**

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキストについて設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- ［コントラスト］は［反転レンダリング］にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、プラグインの設定、ウェブサイト設定、ページコンテンツの設定、初期設定リセットについて設定します。

- ページコンテンツの「ページの自動調整」にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

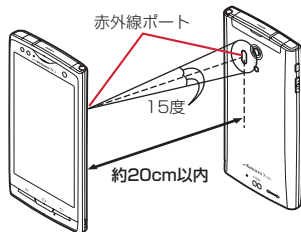
帯域幅の管理：検索結果のプリロードや画像の読み込みについて設定します。

Labs：クイックコントロールや全画面の表示について設定します。

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  電話帳※、マイプロフィール、名刺、spモードメール※、スケジュール＆メモ※、静止画、動画、トルカ
  ※ 全件送信に対応しています。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

❖赤外線通信でマイプロフィールを送信

1 **アプリケーションメニューで[電話帳]→[マイプロフィール]→ →[赤外線送信]**

- 送信する対象を選択する画面が表示された場合は、[マイプロフィール（名刺以外）を送信］を選択して［OK］をタップします。

2 **[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]**

❖赤外線1件送信

〈例〉電話帳を1件送信する

1 **アプリケーションメニューで[電話帳]→[連絡先]→ →[その他]→[データ送信(赤外線)]→[1件送信]→連絡先を選択→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]**

❖赤外線全件送信

〈例〉電話帳を全件送信する

- 全件送信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で →［本体設定］→［ドコモサービス］→［ドコモアプリパスワード］をタップして操作してください。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 **アプリケーションメニューで[電話帳]→[連絡先]→ →[その他]→[データ送信(赤外線)]→[全件送信]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]→受信側と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]**

❖赤外線受信

〈例〉電話帳を受信する

- 全件受信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で[≡]→［本体設定］→［ドコモサービス］→［ドコモアプリパスワード］をタップして操作してください。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 アプリケーションメニューで[赤外線]

2 [1件受信]→[OK]→[OK]→[OK]

全件受信：[全件受信]→ドコモアプリパスワードを入力→［OK］→送信先と同じ認証パスワードを入力→［決定］→［OK］→［OK］→［保存する］

- アカウントの選択画面が表示された場合は、アカウントを選択します。

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P146
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で ☰ →[本体設定]→[Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- 通知パネルの設定スイッチでもON／OFFを設定できます。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面で ☰ →[本体設定]→[Bluetooth]

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、［他のBluetoothデバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］をタップして［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にしてから［デバイスの検索］をタップします。

2 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P117）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をロングタッチ

2 →[すべて見る...]→[Bluetooth]／

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

- 新たにBluetooth機器を検出する場合は［デバイスのスキャン］をタップします。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有：ファイル着信]→[承諾]

転送確認画面から受信したファイルを確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で[MENU]→[本体設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器のをタップ→[ペアを解除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で[MENU]→[本体設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器のをタップ→[名前を変更]→端末名を入力→[OK]

外部機器接続

◆ microSDカードのデータをパソコンから操作

付属のPC接続用USBケーブル T01で本端末とパソコンを接続すると、本端末のmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードがマウントされていない場合は、[MENU]→［本体設定］→［ストレージ］→［SDカードをマウント］をタップします。
- ［メディアデバイス（MTP)］／［カメラ（PTP)］で前回接続している場合は、接続方法が記憶されていますので、操作2は不要です。プログラムの画面の表示に従って操作してください。
- マスストレージとして接続する場合は、microSDカードを使用して実行中のアプリケーションを終了してください。

2 目的の操作を行う

マスストレージとして接続：通知パネルを開く→［USB接続］→［USBストレージをONにする］→［USBストレージをONにする］の画面が表示された場合は［OK］→［USBストレージを使用中］の画面が表示されたらパソコン側で該当のリムーバブルディスクを表示→microSDカードとパソコンの間でデータを操作

- 本端末の内蔵ストレージとmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識されます。
- USBケーブルを取り外すには、「USBケーブルの安全な取り外し」をご覧になり操作してください。→P97

メディアデバイス（MTP）／カメラ（PTP）で接続：通知パネルを開く→［マスストレージとして接続］→［メディアデバイス（MTP）］／［カメラ（PTP）］→パソコン側でプログラムを選択→プログラムの画面の表示に従って操作→操作終了後はUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ

- Windows XPで［カメラ（PTP）］を選択すると、本端末のmicroSDカードのデータを正しく表示できない場合があります。
- microSDカードを取り外している場合は、本端末の内蔵ストレージのデータをパソコンから操作できます。

❖USBケーブルの安全な取り外し

- パソコンとマスストレージとして接続した場合に操作します。
- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 パソコン側でハードウェアの安全な取り外しを実行

2 ［USBストレージをOFFにする］→USBケーブルを取り外す

◆USBマスストレージとのデータやりとり

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBマスストレージのUSBコネクタをUSBケーブルのソケットに差し込む

- USBマスストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、ワンセグなどと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［ストレージ］→［USBストレージのマウント解除］→USBケーブルを取り外す

◆ HDMI接続でテレビに表示

テレビに動画、画像、ブラウザ画面、メディアプレイヤーなどを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きのテレビを接続するには、HDMIマイクロプラグ（Type D）に対応した、HDMI規格認証品（カテゴリー2推奨）のHDMIケーブル（市販品）が必要です。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。

1 **テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続**

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 **本端末とHDMIケーブルを接続**

3 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[マルチメディア]→[HDMI設定]**

4 **[HDMI]にチェック**

- テレビ表示中にHDMIケーブルが抜けると、一定時間接続待機状態になります。

出力を停止：**[HDMI] のチェックを外す**

✔お知らせ

- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- HDMI出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- 電話着信時は出力を終了します。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外すか、ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［マルチメディア］→［HDMI設定］→［HDMI］のチェックを外して終了することをおすすめします。

DLNA対応機器との連携

本端末に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P63
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[設定する(DIXIM SERVER)]

- ［DiXiM Server］の画面が表示されたら、［はい］をタップします。

2 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。

サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更できます。

アクセス権の設定：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［接続機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。

保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。

公開フォルダ設定：DLNA機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。

起動時のメッセージ：起動したときにメッセージを表示するかを設定します。

画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかどうかを設定します。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、F-05D以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

2 再生する種別を選択→フォルダを選択

3 コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチし、そのまま上方向にスライド

4 再生先一覧で再生先を選択

- 再生先は、前回再生を行ったDLNA対応機器が記憶されています。

5 プレーヤー画面で再生

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

2 メニューバーの[設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]

- ［コンテンツタップ時の動作］で［リモート機器で再生］を選択し、リモート機器の再生先を選択することで、別のDLNA対応機器で再生することもできます。

3 再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

- ドラマなどの連続放送の録画番組は、コンテンツが終了すると次のコンテンツを連続して再生します。
- プレーヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

✔お知らせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチし、そのまま下方向にスライドすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツはダウンロードできません。

◆ デジタル録画番組を持ち出して再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。

1 **アプリケーションメニューで[DiXiM]→[設定する(DIXIM SERVER)]**

- DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。
- あらかじめ［保存先設定］でコンテンツの保存先を設定しておきます。→P99

2 **DLNA対応機器からアップロードを実行**

設定した保存先に、アップロードされたコンテンツが保存されます。

3 **アプリケーションメニューで[DiXiM]→[視聴する(DIXIM PLAYER)]→メニューバーの[持ち出し番組]**

4 **持ち出し番組一覧からコンテンツを選択→プレーヤー画面で再生**

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 アプリケーションメニューで[dメニュー]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- お買い上げ時は、ホーム画面で［dメニュー］をタップしても操作できます。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 アプリケーションメニューで[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- お買い上げ時は、ホーム画面で［dマーケット］をタップしても操作できます。
- 初回起動時は、「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」の［同意する］にチェックを付けて、［利用開始］をタップします。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ アプリケーションをインストール

1 アプリケーションメニューで[Playストア]

Google Playの画面が表示されます。

- 初回起動時は利用規約を読み、［同意する］をタップします。

2 アプリケーションを検索→アプリケーションを選択

3 [ダウンロード](無料アプリケーションの場合)／[金額](有料アプリケーションの場合)

- アプリケーションによって表示される内容は異なります。
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［同意してダウンロード］／［同意して購入］をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［同意してダウンロード］／［同意して購入］をタップします。
- 有料アプリケーションの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
  アプリケーションの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリケーションにつき1回のみ有効）。アプリケーション購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、Google Play画面で≡→［ヘルプ］→［Androidアプリ］をタップして、「アプリケーションの購入」をご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。

✔お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。→P82

◆ Google Playのアプリケーションの削除

1 Google Play画面で≡→[マイアプリ]

2 アプリケーションを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリケーションで［アンインストールと払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

◆ Google Playのヘルプ

1 Google Play画面で≡→[ヘルプ]

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機に本端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

◆ iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。

- iCお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

◆ おサイフケータイのご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆ おサイフケータイの利用

1 **アプリケーションメニューで［おサイフケータイ］**

サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。

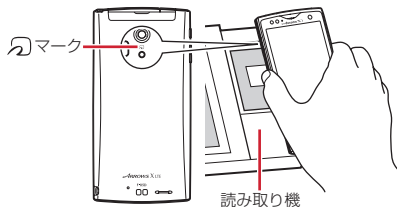
2 **サービスを選択**

- 初回起動時は画面の指示に従って初期設定を行ってください。

3 **サービスに関する設定を行う**

- サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

◆ 読み取り機にかざす

マークをかざすだけで、読み取り機と通信できます。

- マークは読み取り機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。なお、マークは本端末の中心部ではなくカメラ付近にあるため、かざす位置にご注意ください。
- マークと読み取り機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

1 **アプリケーションメニューで[おサイフケータイ]**

2 **[ロック設定]**

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

3 **[おサイフケータイ 機能をロック]→認証操作**

❖ ロックの解除

1 **アプリケーションメニューで[おサイフケータイ]**

2 **[ロック設定]**

3 **[おサイフケータイ 機能をロック]→認証操作**

◆ iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

◆ トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは［トルカ］アプリに保存され、［トルカ］アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得、更新、トルカの共有、microSDカードへの移動／コピー、地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックにチェックを付けている場合、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

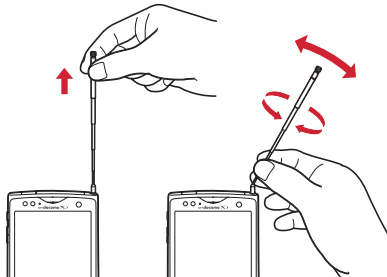
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所

- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、ワンセグアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

■ ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナがワンセグの電波を受信します。

- ワンセグアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- ワンセグアンテナの方向を変えるときはワンセグアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。

- ワンセグアンテナをしまうときはワンセグアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

◆ ワンセグの起動

1 **アプリケーションメニューで[テレビ]**

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで［同意する］をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P111

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ［動画補正］にチェックを付けると、高画質化エンジンを使用して視聴できます。→P72
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットは実行できません。

❖ワンセグ画面について

ワンセグ視聴画面

テレビ操作画面

① **テレビ映像エリア**
- タップするとテレビ操作画面の表示／非表示を切り替えられます。
- 左右にフリックすると選局を開始できます。
- ロングタッチすると画面の向きを固定／解除できます。

② **字幕表示エリア**
- ロングタッチすると画面の向きを固定／解除できます。

③ **データ放送エリア**

④ **データ放送の操作ボタン**

⑤ **チャンネルの切り替え**
- ロングタッチするとチャンネルサーチを開始できます。
  チャンネルサーチをして未登録の放送局が見つかったときは、[≡]→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネル追加］→［はい］をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑥ **チャンネル、放送局名、番組名**

⑦ **番組表**
- タップすると番組内容を確認できます。
- ロングタッチすると録画予約／視聴予約を開始できます。→P109

⑧ **選局ボタン**

⑨ **録画ボタン**
→P110

⑩ **音量調節バー**
- 左右にドラッグすると音量調節できます。

[▲][▼]：音量調節
[▲][▼]（1秒以上）：チャンネルの切り替え

◆ワンセグの終了

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[終了]

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[TVリンク]→テレビリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[TVリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ→[削除]→[はい]

テレビリンクをすべて削除：[≡]→［全件削除］→［はい］

◆ Twitterの利用

ワンセグを視聴しながらTwitterを起動してタイムラインの閲覧やツイートを投稿することができます。

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[Twitter起動]→[OK]

◆ 視聴予約／録画予約

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[視聴予約／録画予約]

録画予約一覧／視聴予約一覧が表示されます。

2 [録画予約]／[視聴予約]→[≡]→[新規予約]→[番組表から予約]／[手動で予約]

3 各項目を設定→[完了]

✔お知らせ

- 予約した時刻になると、予約アラーム設定で設定した時間に従って、予約通知画面が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。

❖ 予約内容の確認

予約内容の確認をします。

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[視聴予約／録画予約]→[録画予約]／[視聴予約]

録画予約一覧／視聴予約一覧が表示されます。

2 予約をタップ

✔お知らせ

- 録画／視聴予約一覧画面で予約をロングタッチすると、［予約の詳細］／［予約を編集］／［予約を削除］を操作できます。

❖ 録画予約結果の確認

録画予約の結果を確認します。

1 ワンセグ視聴画面で[≡]→[視聴予約／録画予約]→[録画予約結果]

予約結果一覧が表示されます。

2 予約をタップ

- 予約をロングタッチ→［予約結果を削除］をタップすると予約を1件削除できます。また、[≡]→［全件消去］をタップすると予約を全件削除できます。

◆ ワンセグ録画

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 テレビ操作画面で[録画]を左にスライドして録画を開始

- ワンセグ画面→P108

2 [録画]を右にスライドして録画を終了

✔お知らせ

- あらかじめF-05DでフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
- 録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
- 録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
  - microSDカードの空き容量が2MB以下
  - 電池残量が10%以下
  - 録画開始から6時間経過
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- 録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖録画番組の再生

1 ワンセグ視聴画面で[メニュー]→[録画リスト]

2 データを選択

- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。

✔お知らせ

- 録画リスト画面で、データをロングタッチすると、再生、データの削除、データの保護／解除、タイトル名の変更などが行えます。また、録画リスト画面で[メニュー]→［全件削除］→［はい］をタップすると、データを全件削除できます。

◆ ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。
字幕言語切替：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
主・副音声切替：副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
音声切替：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聴くかを設定します。
左右音声切替：左右どちらの音声を聴くかを設定します。
なめらかモード：映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。［なめらかモード］にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。
チャンネル設定：「チャンネル設定」→P111
Twitter操作ボタン：Twitter操作用のボタンを表示します。
予約アラーム設定：予約番組の開始時のアラーム音やアラーム時間などを設定します。
放送用メモリ初期化：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

◆ チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

1 ワンセグ視聴画面で［≡］→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト編集］→［新規作成］

2 ［手動設定］／［自動設定］→チャンネルリストを設定

手動設定：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。

自動設定：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

❖チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で［≡］→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト切替］→チャンネルリストを選択

❖チャンネルリストから放送局を削除

1 ワンセグ視聴画面で［≡］→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト編集］

2 チャンネルリストを選択→［≡］→［削除］→放送局にチェック

3 ［削除］→［はい］

❖チャンネルボタンの割り当てを変更

1 ワンセグ視聴画面で［≡］→［設定］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト編集］

2 チャンネルリストを選択→［≡］→［並べ替え］

3 ▬をドラッグしてリストを並べ替える→［完了］

◆ 地デジ番組を再生する

microSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を高画質（VGAクラス）で視聴することができます（地デジ持ち出し機能）。

- 書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に挿入

3 ワンセグ視聴画面で［≡］→［録画リスト］

4 地デジ番組を選択

✔お知らせ

- 地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

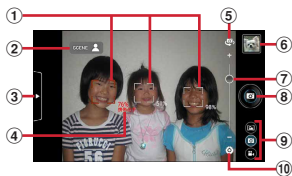
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラをご利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 至近距離で撮影すると、撮影お知らせランプの光が撮影画像に映りこむことがあります。
- マナーモード、公共モードの設定に関わらず、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないと、カメラは終了します。
- 「無限連写」、「パノラマ撮影」で撮影するには、microSDカードを取り付けている必要があります。
- AFモードが［接写］のときは約8～11cm、シーン別撮影が［自動シーン認識］のときは約8cm以上、被写体とカメラを離してください。
- オートフォーカスでピントを合わせられる距離はAFモードが［標準］のときは約30cm以上です。また、AFモードが［接写］のときは約8cm～40cmです。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① 顔検出枠

- 顔が検出されない場合は、画面内の被写体に自動的にフォーカスを合わせて検出枠を表示します。

② 自動シーン認識アイコン
③ 設定メニュー表示用タブ
④ 検出された人物の名前（サーチミーフォーカス）
⑤ インカメラ／アウトカメラの切り替え
⑥ 撮影履歴
⑦ ズーム
⑧ シャッターボタン
⑨ パノラマ撮影／静止画撮影／動画撮影の切り替え
⑩ 撮影設定メニューアイコン
⑪ 録画開始／終了ボタン

◆ 静止画撮影

- カメラ利用中は、撮影お知らせランプとしてカメラライトが点滅します。

1 アプリケーションメニューで[カメラ]→撮影画面に被写体を表示→◎

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：「−」と「+」の間をタップまたはスライド
インカメラ／アウトカメラの切り替え：◎をタップ
撮影履歴の表示・再生：撮影履歴の画像をタップし、表示された画像をもう一度タップして履歴一覧を表示

◆ パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左右または上下に少しずつずらすだけで連続したパノラマ画像を撮影できます。

- カメラ利用中は、撮影お知らせランプとしてカメラライトが点滅します。
- インカメラでのパノラマ撮影はできません。
- 「パノラマ撮影」で撮影した画像は、microSDカードに保存されます。microSDカードが取り付けられていることを確認してください。
- パノラマ撮影では、約2分間操作しないことによるカメラが終了する機能には対応していません。

1 アプリケーションメニューで[カメラ]

2 ☰→[パノラマに切替]

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で◎をタップして切り替えることもできます。

3 カメラを被写体に向ける

4 ◎（開始）

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

5 (シャッター終了)

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆ 静止画の撮影設定メニュー

静止画撮影画面に表示されている設定メニュー表示用タブや撮影設定メニューアイコンを利用して、撮影時の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- 設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。
- インカメラでは設定できない項目があります。
- ホーム画面、アプリケーション画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

❖ 静止画の設定メニュー表示用タブ

静止画撮影画面に表示されている設定メニュー表示用タブをタップまたはスライドすると、次のメニューが表示されます。

■ 撮影モード

- [クイック撮影] を設定すると、撮影から保存まですばやく動作します。
- [無限連写] を設定すると、シャッターボタンをタッチしている間、連続して静止画を撮影・保存し続けます。「無限連写」で撮影した画像は、microSDカードに保存されます。microSDカードが取り付けられていることを確認して、[データ保存先切替] を [SDカード] に設定してください。また、SDスピードクラスがClass4以上のmicroSDカード（別売）／microSDHCカード（別売）をご利用になることをおすすめします。
- [ベストショットセレクト] を設定すると、撮影動作を行う前後の静止画が7枚撮影されます。撮影後、端末がベストショットを推薦します。推薦されるベストショットは、笑顔度、目つぶり、ブレから判断されます。

■ エフェクト撮影

画像に特殊効果をかけることができます。撮影画面に調整バーが表示された場合は、スライドさせることで効果のかかりかたを調整できます。

- 背景ぼかしを設定すると、被写体に対して背景をぼかして撮影することができます。
- HDRを設定すると、露光時間の異なる2枚の画像を撮影し、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成することができます。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを設定します。

- [自動シーン認識] にすると、最適なシーン（標準・人物・夜景・風景・接写）に切り替えます。また、撮影画面上にQRコードを認識すると自動的にデータを読み取ります。

■ 笑顔シャッター

撮影対象の笑顔度が設定値に達したとき自動的に撮影することができます。

■ AFモード、追跡フォーカス、タッチオートフォーカス、サーチミーフォーカス、ちらつき調整、データ保存先切替、セルフタイマー、位置情報を記録する、カメラ設定

AFモード：顔や被写体に合わせて検出枠を表示し、オートフォーカスのモードを切り替えます。[シーン別撮影] を [自動シーン認識] 以外に設定すると、[標準] と [接写] を切り替えることができます。

追跡フォーカス：被写体を追跡してピントを合わせ続けます。

タッチオートフォーカス：タッチした被写体にフォーカスロックします。

サーチミーフォーカス：サーチミーフォーカスの個人認識データとして登録すると、登録した顔が自動的に判別されて、名前が表示されます。

- 登録した顔は、優先的にピントや明るさが調整されます。
- 登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物の顔検出枠が赤色になります。

ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。
- ［自動］で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

データ保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。
セルフタイマー：セルフタイマーを設定します。
位置情報を記録する：撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定（ON／OFF）します。
カメラ設定：［初期設定に戻す］をタップすると、カメラの各設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- サーチミーフォーカスの個人認識データは削除されません。

❖静止画の撮影設定メニューアイコン

静止画撮影画面に表示されている撮影設定メニューアイコンをタップすると、次のメニューが表示されます。

■ フラッシュモード

フラッシュのオート／ON／OFFを切り替えます。
［ON］のときは、待機中にカメラライトが点灯します。
- 撮影モードが［無限連写］／［ベストショットセレクト］のときや、エフェクト撮影で背景ぼかしまたはHDRを設定中は、撮影時にフラッシュ点灯しません。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 表示サイズ

画像サイズを選択します。

■ 明るさ調整

画像の明るさを設定します。

◆ 動画撮影

- カメラ利用中は、撮影お知らせランプとしてカメラライトが点滅します。

1 アプリケーションメニューで［カメラ］

2 ［メニュー］→［動画撮影］
- 静止画撮影画面やパノラマ撮影画面で［動画］をタップして切り替えることもできます。

3 撮影画面に被写体を表示→［撮影］

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 ［停止］

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

■ 動画撮影画面の主な操作

ズーム：「－」と「＋」の間をタップまたはスライド
インカメラ／アウトカメラの切り替え：［切替］をタップ
撮影履歴の表示・再生：撮影履歴の画像をタップし、表示された画像をもう一度タップして履歴一覧を表示

✔お知らせ
- フルHDサイズ（1920×1080）／HDサイズ（1280×720）で録画する場合は、SDスピードクラスがClass4以上のmicroSDカード（別売）／microSDHCカード（別売）をご利用になることをおすすめします。

◆ 動画の撮影設定メニュー

動画撮影画面に表示されている設定メニュー表示用タブや撮影設定メニューアイコンを利用して、撮影時の設定を変更できます。
- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

❖動画の設定メニュー表示用タブ

動画撮影画面に表示されている設定メニュー表示用タブをタップまたはスライドすると、次のメニューが表示されます。

■ エフェクト撮影

撮影効果を設定します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。

■ AFモード、明るさ調整、録画音声、ちらつき調整、セルフタイマー、データ保存先切替、カメラ設定

AFモード：被写体に合わせて、オートフォーカスのモードを切り替えます。
明るさ調整：画像の明るさを設定します。
録画音声：録画音声のON／OFFを切り替えます。
ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。
- ［自動］で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

セルフタイマー：セルフタイマーを設定します。
データ保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。
カメラ設定：［初期設定に戻す］をタップすると、カメラの各設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

❖動画の撮影設定メニューアイコン

動画撮影画面に表示されている撮影設定メニューアイコンをタップすると、次のメニューが表示されます。

■ フラッシュモード

［ON］にすると、カメラライトが点灯します。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 動画の画質

撮影する画像の画質を選択します。

■ サイズ選択

画像サイズを選択します。

◆ バーコードリーダー

JANコード（JAN8、JAN13）、NW7コード、CODE39コード、QRコードのデータを読み取り、利用できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖バーコードの読み取り

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 **アプリケーションメニューで［カメラ］→ ≡ →［バーコードリーダーに切替］**

2 撮影画面にコードを表示→スキャンまたは撮影画面をタップ

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読取結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

静止画撮影／動画撮影の切り替え： [≡]→［カメラ切替］→［静止画］／［動画］

ライトのON／OFF： [≡]→［ピクチャーライトをONにする］／［ピクチャーライトをOFFにする］

履歴の表示： [≡]→［履歴］

ヘルプの表示： [≡]→［ヘルプ］

ちらつき調整の変更： [≡]→［ちらつき調整］→［自動］／［50Hz（東日本）］／［60Hz（西日本）］

3 読み取りデータを確認

データの保存： [≡]→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

❖バーコードデータの主な利用

読取結果画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録： [≡]→［電話帳一括登録］→電話帳に登録

メールの作成： メールアドレスを選択してメールを作成

サイトまたはホームページに接続： URLを選択

URLをブックマークに登録： [≡]→［ブックマークに登録］

電話をかける： 電話番号を選択して電話をかける

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。
  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画：H.263、H.264、MPEG-4、MPEG-2、VC-1、VP8、WMV9
  ※GIFアニメーションは再生できません。
- ファイルによっては再生できない場合があります。

◆画像の表示／再生

1 アプリケーションメニューで[ギャラリー]→アルバムを選択→画像を選択

- 動画は画像一覧で ▶ が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

✔お知らせ

- アルバム一覧で右上の[📷]をタップすると、カメラが起動します。
- アルバム一覧で画面上の［アルバム］をタップすると、画像を［アルバム］／［ロケーション］／［時間］／［タグ］別に分類して表示を切り替えることができます。［タグ］による分類は、Picasaのアルバムに設定されたタグ情報による分類となります。あらかじめPicasaのアルバムにタグ情報を設定した上で、Picasaに登録されているGoogleアカウントを本端末に同期させてからご利用ください。

❖静止画表示中の操作

- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 静止画表示中に［メニュー］を押すと、［スライドショー］／［編集］／［左に回転］／［右に回転］／［トリミング］／［登録］／［詳細情報］の各操作ができます。［編集］では、色調や明るさの補正、特殊効果など多彩な編集ができます。［登録］では、電話帳の写真や壁紙に登録できます。
- 静止画表示中に右上のをタップすると、［赤外線］／［メモ作成］／［画像編集］を操作したり、送信方法を選択して静止画の送付などができます。［画像編集］では、［歪み補正］／［ホワイトボード補正］、また人物画像については［美肌］／［瞳強調］／［美白］／［小顔］／［ふんわり／くっきり］の画像編集ができます。
- 静止画表示中に右上のをタップすると、表示中の画像を削除できます。

❖動画再生中の操作

- で音量を調節します。
- キーやプログレスバーで、再生／一時停止、巻き戻し／早送りなどの操作をします。キーなどが表示されない場合は、画像をタップします。

❖画像一覧での操作

- 画像をロングタッチすると、画面左上にチェックが表示され、画像に水色の枠が表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の［○件選択･･･］をタップすると、画像の［すべて選択］／［選択をすべて解除］ができます。
- 画像一覧の右上に表示されているをタップすると、画像を順番に表示します。
- 画像一覧で静止画または動画を選択した状態で、(共有)／(画像編集)／(ゴミ箱)／(その他)などをタップすると、静止画表示中と同様の操作ができます。

マイコレクション

画像を分類して表示します。なかまコレクションで同じ情報を持つ画像を表示したり、アルバムを作成して画像を分類したりできます。

1 アプリケーションメニューで[マイコレクション]→[写真&動画]／[人物]／[アルバム]→画像を選択

■ 写真&動画

写真と動画を日付順に表示します。［Pick up］（なかまコレクション）は、ランダムに選択された画像と、その画像と同じ情報を持つ画像の一部を表示します。

- ［写真&動画］をタップすると、表示する画像の種類を選択できます。

■ 人物

サーチミーフォーカスに登録された人物ごとに分類して表示します。

- 画像一覧で［メニュー］→［ソート］をタップすると、スマイル度順に並べ替えができます。

■ アルバム

作成したアルバムに画像を貼って分類します。

アルバム新規作成：［新規作成］→各項目を設定→［新規作成］

アルバム編集：［メニュー］→アルバムを選択→［変更］→各項目を設定→［変更］

アルバム削除：［メニュー］→アルバムを選択→［削除］→［OK］

画像を貼る：アルバムを選択→［メニュー］→［貼る］→画像を選択→［アルバムに貼る］

画像をはがす：アルバムを選択→画像をロングタッチして選択→［その他］→［はがす］→［OK］

画像のコメント編集：アルバムを選択→画像をロングタッチして選択→［その他］→［コメント編集］→コメントを編集→［OK］

❖画像表示中／画像一覧表示中の操作

- 画像を表示中に、画像をタップすると、表示中の画像のなかまコレクションが表示されます。
- 画像を表示中に［≡］→［その他］→［画像編集］を選択して、画像を編集できます。
- GPS情報がある画像を表示中に［≡］→［その他］→［地図上に表示］を選択すると、Googleマップで撮影場所を確認できます。
- ピンチイン／ピンチアウトして縮小／拡大します。
- 画像一覧で画像をロングタッチで選択、タップで解除します。画像を選択した状態で画面上部の［すべて選択］／［すべて解除］で画像の全選択／全解除します。
- 画像表示中や画像一覧表示中に［≡］を押すと次の操作ができます。

  [共有]：送信方法を選択して画像を送付します。

  [削除]：画像を削除します。

  [アルバムに貼る]：作成したアルバムに画像を貼ることができます。

  [その他]：［画像編集］［壁紙に設定］［詳細情報表示］［スライドショー］［表示順を昇順／降順に変更］［アルバムバックアップ］［なかまコレクションを表示／非表示］などができます。操作できる項目は、画像表示中、画像一覧表示中、画像一覧で画像選択中では異なります。

  - ［アルバムバックアップ］は、マイコレクションのアルバム情報をバックアップ作成／復元します。他の端末でバックアップしたマイコレクションのアルバム情報を、本端末に復元することもできます。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、ストアからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-ACC v1、HE-ACC v2、MP3、MIDI、WMA9、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、Vorbis、PCM、WAVEです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、MPEG-4、MPEG-2、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- MIDI形式のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリケーションでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P96

◆音楽／動画の再生

1 **アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]→アイコンを選択**

- ［全曲］をタップした場合は、操作3に進みます。

2 **アイテムを選択**

3 **音楽／動画を選択**

◆ストアからの購入

1 **アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]→[MUSICストア]／[VIDEOストア]**

ストア画面が表示されます。

- 初回起動時の場合は「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ メディアプレイヤーのヘルプ

メディアプレイヤーの操作方法を確認できます。

1 アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]

2 [メニュー]→[ヘルプ]

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどができます。

1 アプリケーションメニューで[YouTube]

動画の一覧画面が表示されます。

[録画アイコン]: 動画を録画してアップロード

[検索アイコン]: キーワードを入力して動画を検索

2 動画を選択

- 画面をタップすると一時停止／再生の切り替えができます。
- 再生画面が全画面表示のときは再生位置を指定するスライダーや、高画質（HQ）再生のオン／オフ設定アイコン（HQ）が表示されます。

✔お知らせ

- ［動画補正］にチェックを付けると、高画質化エンジンを使用して再生できます。→P72
- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境により本端末からはアップロードできない場合があります。

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、お知らせLEDがある本体左上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報サービスの設定

❖GPS機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリケーションに許可するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[位置情報サービス]→[GPS機能]にチェック→[同意する]

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、視界が良好な場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- Googleの位置情報サービスと併用することをおすすめします。

❖Googleの位置情報サービス

Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地の特定を許可します。

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[位置情報サービス]→[Googleの位置情報サービス]にチェック→[同意する]

❖位置情報とGoogle検索

検索結果やサービスの品質向上にGoogleが現在地情報を使用することを許可します。

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[位置情報サービス]→[位置情報とGoogle検索]にチェック→[同意する]

- ［位置情報とGoogle検索］にチェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無に関わらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GSMネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❖現在地を表示

1 アプリケーションメニューで[マップ]→

- 地図表示中は次の操作ができます。
  スクロール：地図をスクロールします。
  2本指スワイプ：上下スワイプで地図の表示が傾斜します。回転スワイプで地図の表示が回転します。
  ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
  ダブルタップ：拡大します。

❖ストリートビュー

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 地図表示中に地点をロングタッチ→表示された吹き出しをタップ→

- ストリートビュー表示中に→［コンパスモード］をタップしてコンパスモードをオンにすると、本端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

❖場所を検索

1 地図表示中に→検索ボックスにキーワードを入力

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン 美術館）を入力します。

2 ／検索候補を選択→地図上の吹き出しをタップ

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸を選択して吹き出しを表示します。［検索結果一覧］をタップしてリストを表示し、目的の場所を選択して詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖レイヤを表示

地図表示に道路の交通状況を追加したり、航空写真表示に切り替えたりします。

1 地図表示中に→項目を選択

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

❖道案内

1 地図表示中に

2 [現在地]→出発地を入力→[目的地:]→目的地を入力

- 現在地から道案内をする場合は、［現在地］のままにします。
- 入力欄右のをタップして、現在地や連絡先の住所、地図上の場所、マイプレイスを指定することもできます。

3 移動手段(自動車／公共交通機関／徒歩)を選択→[ナビ]／[経路を検索]

：自動車　：公共交通機関　：徒歩

- 自動車／徒歩で［ナビ］をタップした場合は、ナビが起動します。
- 公共交通機関で検索して複数のルートが見つかった場合は、ルートを選択します。
- 地図の下に表示されるをタップして前後のポイントに進みます。また、をタップするとナビが起動します。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［ナビ］の操作でもルート検索ができます。

◆ Google Latitudeで友だちの現在地を確認

地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

❖Latitudeに参加

1 地図表示中に → [Latitude]

- Latitudeの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  地図表示中に → [ヘルプ] → [操作手順] → [検索して地図を使ってみる] → [Latitude]

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで [Latitude] の操作でもGoogle Latitudeを起動することができます。

◆ ローカル

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索します。

1 アプリケーションメニューで[ローカル]

2 カテゴリを選択

- → [検索を追加] をタップすると、一覧にない施設や店舗（美術館、書店など）を追加できます。

3 施設／店舗を選択

4 目的の操作を選択

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

カレンダー

Googleアカウントなどのカレンダーと同期させて予定を管理できます。

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え：画面左上の年月をタップ→ [日] ／ [週] ／ [月] ／ [予定リスト]
今日を含む表示に切り替え：画面右上のをタップ
カレンダー設定： → [設定] → [全般設定] → 各項目を設定

◆ 同期／表示するカレンダーの管理

1 カレンダー画面で →[表示するカレンダー]

- 登録されているアカウント名やアカウントのカレンダー名が表示されます。→P74

2 アカウント名やアカウントのカレンダー名にチェック→[同期するカレンダー]→同期するカレンダーにチェック→[OK]

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で［≡］→［予定を作成］

- 未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。
- 時間帯をロングタッチ→［新しい予定］をタップしても登録できます。

2 各項目を設定→［完了］

❖ 通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で通知を消去したりスヌーズを設定したりできます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的の操作を行う

予定の確認：通知をタップ
詳細画面が表示され、通知を編集できます。
通知をすべて消去：［通知を消去］
通知をすべてスヌーズ：［すべてスヌーズ］
5分後に再度予定を通知します。

◆ 予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 詳細画面での主な操作

予定の編集：✎→予定を編集→［完了］
予定の削除：🗑→［OK］

スッキリ目覚まし

通常の目覚ましだけでなく、眠りの状態を検出して眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましを設定できます。

- 目覚ましは最大10件登録できます。スッキリ目覚ましを設定できるのは1日に1件のみです。
- スッキリ目覚ましは、十分に充電されている状態でないと動作しません。充電しながら利用することをおすすめします。

1 アプリケーションメニューで［スッキリ目覚まし］

2 ［目覚ましの設定］→時刻を設定→［設定］→各項目を設定→［保存］→［OK］

目覚ましON／OFF切り替え：⏰にチェック（緑）／チェックを外す
スッキリ目覚ましON／OFF切り替え：［スッキリ］にチェック／チェックを外す
- チェックを付けて注意画面が表示された場合は［OK］をタップします。

目覚ましを編集：目覚ましの時刻をタップ→各項目を設定→［保存］
目覚ましを削除：目覚ましの時刻をタップ→［削除］→［削除］

✔お知らせ

- スッキリ目覚ましは、眠りの状態を検出しますが、［スッキリ目覚まし鳴動範囲設定］の時間内に検出できない場合があります。検出の有無にかかわらず、指定時刻にはアラームが鳴動し、［スヌーズ設定］の設定に従います。

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：[削除]
数式をすべて消去：[削除]（ロングタッチ）
関数パッド／四則演算パッド切り替え：[≡]→［関数機能］／［標準機能］

- 左右にフリックして切り替えることもできます。

履歴の消去：[≡]→［履歴消去］
切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロングタッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

- 数式表示欄を上下にフリックして数式の履歴を表示できます。
- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。［消去］をタップして計算結果を消去できます。

電子辞書

電子辞書を利用します。

1 アプリケーションメニューで[統合辞書＋]

2 キーワードを入力→[検索]

- 文字入力中はキーワードに連動して検索候補が表示されます（インクリメンタルサーチ）。

音声検索：[マイク]→キーワードを発声
ヘルプの表示：[≡]→［ヘルプ］
電子辞書の操作方法などを確認できます。
電子辞書設定：[≡]→［設定／管理／info］→［設定］→各項目を設定
文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを設定できます。
辞書の管理：[≡]→［設定／管理／info］→［辞書管理］→目的の操作を行う
辞書の保存先を移動したり、辞書を削除したりします。

3 候補一覧から調べたいキーワードをタップ

✔お知らせ

- パソコンを使ってダウンロードサイトから辞書データを追加できます。詳しくは［辞書リスト］タブの［詳細］やヘルプをご覧ください。
- 音声検索を利用する場合や、Wikipedia検索を利用した場合は、パケット通信料がかかることがあります。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリケーションを呼び出して起動したりできます。音声でWebサイトを検索することもできます。

1 アプリケーションメニューで[検索]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

音声検索：入力欄右側のをタップ→送話口に向かってキーワードを発声

3 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[検索]→→[設定]→各項目を設定

検索対象：検索対象を指定します。

Google検索：Google検索について設定します。

✔**お知らせ**

- 特定の検索サイトを選択して検索できる［ウルトラ統合検索］を検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面でウィジェットの「ウルトラ統合検索」を一度起動してからご利用いただけます。

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）やPDFファイルなどを表示します。

1 アプリケーションメニューで[Document Viewer]

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。

  ／：前後のページ（シート）を表示

  ：ズームコントロールを表示

  ：表示範囲を指定

  ：ファイル一覧に戻る

- 各ファイルの閲覧画面でを押すと、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✔**お知らせ**

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

1 アプリケーションメニューで[SDカードバックアップ]

SDカードバックアップのメニュー画面が表示されます。

- 初回起動時は「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

2 各項目を選択

バックアップ：電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行う場合は、メニュー画面から［バックアップ］→バックアップするデータを選択→［バックアップ開始］→［OK］→ドコモアプリパスワードを入力してください。選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

復元：電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータの復元を行う場合は、メニュー画面から［復元］→復元するデータの種別で［選択］→復元するデータを選択→［選択］→復元方法を選択→［復元開始］→［OK］→ドコモアプリパスワードを入力してください。選択したデータが本体に復元されます。

電話帳アカウントコピー：Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする場合は、メニュー画面から［電話帳アカウントコピー］→Googleアカウントの電話帳で［選択］→［上書き］／［追加］を選択して実行してください。コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

✔お知らせ

- 画像・動画ファイルなどmicroSDカードに保存されているデータは、バックアップされません。
- バックアップまたは復元中に本端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、［≡］→［ヘルプ］をタップしてご確認ください。

健康生活日記～からだライフ～

本端末内蔵の各種センサーなどにより毎日の活動量や生活習慣を数値化して、健康管理をサポートする各種アプリを利用できます。
本端末を持ち歩くだけで、毎日の歩数や活動量などのデータに応じたアドバイスを、お申し込みいただいたコースにより受け取ることができる「からだライフ」サービスとも連携します。

- 本端末やパソコンから利用できる「からだライフ」サービスは、利用登録が必要な無料のサービスです。ただし、サービス利用に必要なインターネットサービスプロバイダー（ISP）の接続料やパケット通信料がかかります。

1 アプリケーションメニューで[健康生活日記]

- 初回起動時は、ユーザー設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 各機能･アプリを操作

■ ウォーキング／Exカウンタ

「Daily」「Weekly」「Monthly」ごとに「活動量」「歩数状況」を確認できます。

■ 体組成計

体組成情報を確認、編集できます。

■ 脈拍／血圧

脈拍／血圧情報を確認、編集できます。

■ パルスチェッカー

カメラに指を当てて脈拍を測ることができます。

■ ヘルプ

各機能・アプリの詳しい説明を確認できます。

■ ユーザー設定

サービス設定では、「からだライフ」サービスの利用登録／変更／解約、サイトへアクセスしてサービス内容を確認、本端末に蓄積したデータをサーバへ転送する時間の設定（自動送信時間設定）などを行います。
Continua認証機器設定では、Continua規格に対応したBluetooth内蔵の健康機器と連携します。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GまたはGSM/GPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P131

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外で利用する前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■ ディスプレイの表示

- 国際ローミング中は電波状態アイコンの左上に［R］が表示されます。本端末は、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P82

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

◆ ネットワークの種類の設定

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [LTE/3G/GSM(自動)]／[LTE/3G]／[GSM]

✔お知らせ

- ［LTE/3G/GSM（自動）］に設定しているときに、同じ通信事業者のGSM/GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。
- 滞在先で［GSM］に設定した場合は、日本に帰国後、［LTE/3G］または［LTE/3G/GSM（自動）］に設定してください。

◆ 手動で通信事業者を設定

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後に［通信事業者］を［自動選択］に設定してください。

◆ データローミングの設定

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]

2 [データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→＋(「0」をロングタッチ)→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

2 ［📞］

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］にチェックを付けている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→［📞］→［変換後の番号で発信］をタップします。

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔**お知らせ**

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミング利用時の設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

◆ 海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定やローミングガイダンスの設定をしたりします。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[通話設定]→[海外設定]

2 目的の操作を行う

ローミング時の着信を規制：[ローミング時着信規制]→[規制開始]／[規制停止]／[設定確認]

- [規制開始]を選択した場合は[全着信規制]→[OK]をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。
- [規制停止]を選択した場合は[OK]をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。

ローミング時の着信を通知：[ローミング着信通知]→[通知開始]／[通知停止]／[通知設定確認]

- 電源が入っていないときや圏外にいたときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます（無料）。
- [通知開始]または[通知停止]を選択した場合は[OK]をタップします。

ローミングガイダンスの設定：[ローミングガイダンス]→[サービス開始]／[サービス停止]／[設定確認]

- [サービス開始]または[サービス停止]を選択した場合は[OK]をタップします。

国際ダイヤルアシストの設定：［国際ダイヤルアシスト］→各項目を設定
- ［自動変換機能］にチェックを付けると、自動変換が有効になります。
- ［国番号］を選択すると、国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
- ［国際プレフィックス］を選択すると、国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

◆ ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話などのネットワークサービスを設定します。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［通話設定］→［海外設定］→［ネットワークサービス］

2 利用したいサービスを選択

遠隔操作（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
番号通知お願いサービス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミング着信通知（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミングガイダンス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス（有料）：利用したい項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。
転送でんわサービス（有料）：利用したい項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。
- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→P131
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動選択］に設定します。→P131

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F24
- リアカバー F67
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- 卓上ホルダ F36
- PC接続用USBケーブル T01
- FOMA ACアダプタ 01※1／02※1、2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1、2
- ACアダプタ F05※2
- ACアダプタ 03※2
- DCアダプタ 03
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02／03
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※3
- 車載ハンズフリーキット 01
- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01／02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01※4
- microUSB接続ケーブル 01

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※3 本端末と接続するには、PC接続用USBケーブルT01またはFOMA 充電microUSB変換アダプタT01が必要です。
※4 ACアダプタ 03と組み合わせてご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P142
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P27
- 電池切れになっていませんか。

● 充電ができない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P27
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 本端末と付属のACアダプタ F05が正しく接続されていますか。→P31
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLEDが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 温度の低い場所では充電が開始されない場合があります。端末の電源を入れた状態にしてから充電してください。電源が入っている状態でも充電できない場合や、端末の電源が入らない場合には、温度の低い場所を避けて充電してください。

■ 端末操作・画面

● 電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

● ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。⏻または⌂を押して解除してください。→P35

● 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

● ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P26

● タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 充電中に熱くなり、電源が切れる

充電しながら複数のアプリケーションの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い
画面の明るさ設定を確認してください。→P71

●時計がずれる
長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P82

●端末動作が不安定
ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。
セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
次の方法でセーフモードを起動してください。
電源を切った状態でを2秒以上押し、docomoのロゴ表示終了後からホーム画面が表示されるまでの間、を押し続けてください。セーフモードが起動されるとホーム画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●タップしても正しく操作できない
- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作していませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接画面に触れて操作してください。

●電源を入れたのに操作できない
PINコードを入力する画面が表示されていませんか。→P76

●ロックを解除したのに操作できない
セキュリティロックを設定していませんか。→P77

●本端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない
本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションを削除してください。→P74

●アプリケーションが正しく動作しない（アプリケーションが起動できない、エラーが頻繁に起こる）
無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから、再度操作してください。→P74

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない
電源を入れ直してください。→P31

■ 通話・音声

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
- 通話音量を変更してください。また、はっきりボイス、ゆっくりボイス、あわせるボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P51
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

● **通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）**
- ドコモminiUIMカードを取り付け直してください。→P26
- 電池パックを取り付け直してください。→P27
- 電源を入れ直してください。→P31
- 電波の性質により圏外ではなく、電波状態アイコンが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- ネットワークの種類を変更していませんか。→P131
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● **着信音が鳴らない**
- 着信音量を確認してください。→P69
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→P53
  - 機内モード→P65
  - マナーモード→P69
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 留守番電話サービスの呼出時間設定→P53
  - 転送でんわサービスの呼出時間→P53

● **電話がつながらない**
- ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P26
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P65

■ メール

● **新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない**
- 次の設定を変更していませんか。
  - SMSの設定の通知→P85
  - Eメールのアカウント設定のメール着信通知→P88

■ ワンセグ・カメラ

● **ワンセグの視聴ができない**
- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- チャンネルを設定していますか。→P111

● **カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**
- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- シーン別撮影の［自動シーン認識］を利用してください。→P114
- 次の機能を利用してもピントを合わせることができます。→P114、116
  - AFモード
  - 追跡フォーカス
  - タッチオートフォーカス
- 近くの被写体を撮影するときはAFモードを［接写］に切り替えてください。→P114、116

■ おサイフケータイ

● **おサイフケータイが使えない**
- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか。→P105
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P105

■ 海外利用

●海外で、電波状態アイコンが表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの種類を［LTE/3G/GSM（自動）］に変更してください。→P131
- 通信事業者を［自動選択］に設定してください。→P131
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

●海外で利用中に突然、本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P132

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P131

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P26

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合は本端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ その他

●ディスプレイがちらつく

画面の明るさ設定の［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P71

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● ディスプレイに残像が残る
- 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● USBマスストレージに保存したデータが表示されない
USBマスストレージを取り付け直してください。

● 音声が出力されない
ワンセグ視聴中やメディアプレイヤーなどでのコンテンツ再生中にステレオイヤホンプラグを抜くと、再生が一時停止したり、音量が消音になります。

◆ エラーメッセージ

● しばらくお待ちください
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● 電池残量がありません。シャットダウンします。
電池残量がありません。充電してください。→P29

● PINコードが正しくありません。残り回数：X
正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P76

● PINコードを入力
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P76

● SIMカードが挿入されていません
ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。なお、ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め電話発信できません。

● SIM card 異常
このカードは認識できません。再起動します。ドコモUIMカード（FOMAカード）の金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします。清掃には乾いた綿棒を使用してください。
ドコモminiUIMカードの金属部分が汚れている場合に表示されることがありますが故障ではありません。ドコモminiUIMカードの金属部分は定期的に清掃してください。

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［バックアップとリセット］→［データの初期化］→［内蔵ストレージ内のデータを消去］にチェック→［携帯端末をリセット］**

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。
- ［SDカード内データを消去］にチェックを付けると、microSDカード内のデータも消去されます。

2 **［すべて消去］**

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

✔お知らせ

- タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P134）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-05Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、次の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません］と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-05D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 **ホーム画面で［メニュー］→［本体設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［ソフトウェア更新設定の変更］**

2 **［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに(ソフトウェア更新有)が通知されます。

- (ソフトウェア更新有)が通知された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、(ソフトウェア更新有)は消えます。

1 **通知パネルを開き、通知をタップ**

書換え予告画面が表示されます。

書換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：[OK]
ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。
時刻の変更：[開始時刻変更]
予約更新→P145「ソフトウェアの予約更新」
すぐに書き換える：[今すぐ開始]
即時更新→P144「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに(ソフトウェア更新有)が通知されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書換え予告画面から起動する方法と設定メニューから起動する方法があります。

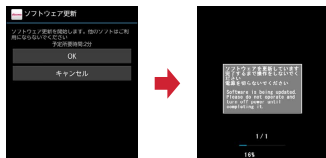
〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **ホーム画面で［≡］→[本体設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]**

- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。

書換え予告画面からの起動：書換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

2 **[ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください]と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始**

- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することができません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに☑が通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

◆ ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 **書換え予告画面を表示→[開始時刻変更]**

2 **時刻を設定→[設定]**

❖予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することができません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-05Dの電源を切った状態の場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに❗（ソフトウェア更新を中断しました 外部メモリの空き領域をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が通知された場合には、microSDカードの空き容量を確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに❗（ソフトウェア更新を中断しました 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が通知された場合は、次の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合
  - microSDカード未挿入

主な仕様

■本体

品名		F-05D
サイズ		高さ約129mm×幅約64mm×厚さ約9.8mm（最厚部：約9.9mm）
質量		約124g（電池パック装着時）
メモリ		ROM：8GB RAM：1GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約490時間
	GSM	静止時（自動）：約290時間
	LTE	静止時（自動）：約200時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約340分
	GSM	約460分
ワンセグ視聴時間※4		約240分
充電時間※5		ACアダプタ F05：約130分 FOMA DCアダプタ 02：約230分
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約4.3inch
	発色数	16777216色
	ドット数	横720ドット×縦1280ドット（HD）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/3.0inch インカメラ：1/6.0inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約1300万画素 インカメラ：約130万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約12.9倍（32段階）
	動画	アウトカメラ：最大約8.0倍（32段階）
無線LAN		IEEE802.11b/g/n※6準拠（Wi-Fiテザリングは IEEE802.11b/g）
Bluetooth機能	規格	Bluetooth標準規格（version2.1＋EDR）※7
	出力	Power class 2
	見通し通信距離※8	約10m以内
	対応プロファイル※9	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※4 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※5 充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
※6 IEEE802.11nは、2.4GHzのみ対応しています。
※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※8 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※9 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■電池パック

品　名	電池パック F24
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1400mAh

❖ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	3gp

❖静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
VGA（640×480）	約32000枚	約8000枚

❖動画の撮影時間（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
VGA（640×480）	約180分（1件あたり約87分）	約43分

❖ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）	microSDHCカード（32GB）
約320分	約10240分

※ microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-05Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.598W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

◆ Declaration of Conformity

The product "F-05D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.616W/kg for HEAD, 0.319W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the

phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.352W/kg, and when worn on the body, is 0.476W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F05D).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.0 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「マチキャラ」「WORLD WING」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「エリアメール」「spモード」「Xi」「Xi/クロッシィ」「声の宅配便」「あんしんスキャン」「dメニュー」「dマーケット」「ｉコンシェル」「eトリセツ」「ケータイデータお預かりサービス」「オートGPS」および「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2012 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「モシモカメラ®」は、アイティア株式会社の登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Gmail、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Googleマップ、GoogleマップナビおよびGoogleマップナビロゴ、GoogleトークおよびGoogleトークロゴ、GoogleローカルおよびGoogleローカルロゴ、Google音声検索、Picasaは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- お買い上げ時、端末本体メモリには以下の辞書データがインストールされています。
  なお、［簡易版］と記載のある辞書コンテンツは、お手持ちのパソコンからダウンロードサイトにアクセスし、正式版をお手持ちのパソコンへダウンロードした後、microSDカードまたは本端末にインストールすることができます。
  〈岩波書店〉
  広辞苑第六版 DVD-ROM版（新村出編）［簡易版］
  〈研究社〉
  リーダーズ英和辞典　第2版（松田徳一郎編）［簡易版］
  〈自由国民社〉
  現代用語の基礎知識2011年版（自由国民社編）
  〈小学館〉
  家庭医学館(総編集　柳下徳雄／服部光男／岡島重孝／小学館・家庭医学館編集委員会)
  〈角川学芸出版〉
  角川類語新辞典(大野晋、浜西正人著)
  〈三省堂〉
  デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
  デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
  デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）
  デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）
  デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ監修／三省堂編修所編）
  デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
  デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）［簡易版］
  デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）［簡易版］
  また、下記のコンテンツはダウンロードサイトからのダウンロードのみの提供となります。
  〈研究社〉
  新和英中辞典　第5版（Martin Collick、David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）

〈大修館書店〉
新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）
みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））
築地魚河岸ことばの話（生田與克、冨岡一成著）
〈三省堂〉
デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英3か国語会話辞典（山村ひろみ監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英3か国語会話辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）

◆ Adobe® Flash® Playerエンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。
  ライセンスに関する詳細は、ホーム画面で［≡］→［本体設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、GPL（http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html）、LGPL（http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html）、MPL（http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html）、CPL（http://www.eclipse.org/legal/cpl-v10.html）の規定に従い開示しております。
  詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご参照ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用になれません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから	dメニュー ⇒「お客様サポートへ」⇒「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから	My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

- 公共モード（ドライブモード／電源OFF）→P53
  電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
- バイブレーション→P70
  電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
- マナーモード→P69
  着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。
  音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定することもできます。
  ※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P53

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-05Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-05Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

Li-ion 00

'12.8（2版）
CA92002-7716